

県出資法人等の経営状況報告概要書
県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

令和3年9月
大 分 県

本概要書は、今議会提出の議案書の参考資料として「県出資法人等の経営状況報告」及び「県有地の信託に係る事務の処理状況報告」の概要をとりまとめたものです。

○**県出資法人等の経営状況報告について**

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、同法第221条第3項に定める法人について、毎事業年度、その経営状況を説明する書類を作成して、議会に提出することになっています。

地方自治法第243条の3第2項による経営状況報告法人

- 1 県が設立した地方住宅供給公社、土地開発公社及び地方独立行政法人（4法人）
- 2 県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社（19法人）

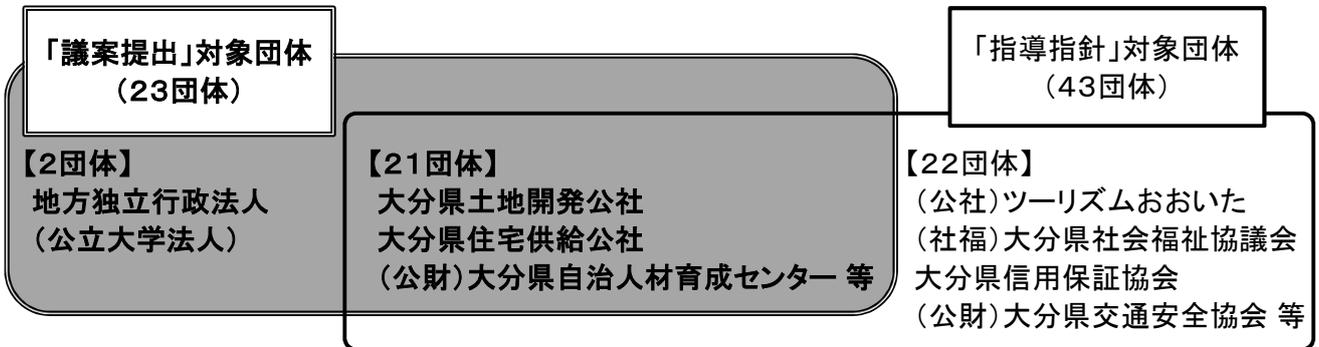
今議会では、23法人が対象法人に該当し、その経営状況について報告議案として議会に提出します。加えて、当県独自の取組として、平成21年9月に策定した「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」により、指針で定める「指定団体」及び「その他の出資等団体」についてはその経営状況等を各常任委員会等で報告し、県庁ホームページ等で公表してきたところです。

なお、「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」の対象となる法人は以下のとおりです。

「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」対象法人（43法人）

- 1 「指定団体」（28法人）
県の事務と密接な関係を有する事業を行っている団体で、次のいずれかに該当するもの。
(1) 基本財産、資本金等に県が出資又は出えんを行っており、その比率が25%以上の団体。
ただし、地方独立行政法人及び専ら国等が指導を行う団体を除く。
(2) 県の補助金、交付金等の額又は委託料の額が、継続的に団体の財政規模の50%以上である団体
(3) 県職員を業務援助のため継続的に派遣している団体
(4) その他特に指導監督する必要がある団体
※ 28法人のうち21法人は地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき議会報告
- 2 「その他の出資等団体」（15法人）
県からの出資等の比率が25%未満の団体（上記1の（2）から（4）までに掲げるものを除く。）をいう。ただし、地方独立行政法人及び専ら国等が指導を行う団体を除く。

報告議案の法人と「指導指針」対象法人の関係は、下図のとおりです。



○**県有地の信託に係る事務の処理状況報告について**

地方自治法第243条の3第3項の規定に基づき、同法第221条第3項の信託について、信託契約に定める計算期ごとに、当該信託に係る事務の処理状況を説明する書類を作成し議会に提出することになっています。

目 次

I 県出資法人等の経営状況報告概要書

「指定団体」

No.	団体名	(所管部局)	ページ
1	(公財)大分県自治人材育成センター	総務部	6
2	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	企画振興部	7
3	大分高速鉄道保有(株)	企画振興部	8
4	大分航空ターミナル(株)	企画振興部	9
5	(社福)大分県社会福祉協議会	福祉保健部	10
6	(公財)大分県地域保健支援センター	福祉保健部	11
7	(公財)大分県臓器移植医療協会	福祉保健部	12
8	(公財)大分県生活衛生営業指導センター	生活環境部	13
9	(公財)大分県産業創造機構	商工観光労働部	14
10	(公財)ハイパーネットワーク社会研究所	商工観光労働部	15
11	(公財)日田玖珠地域産業振興センター	商工観光労働部	16
12	大分ブランドクリエイト(株)	商工観光労働部	17
13	(公財)大分県総合雇用推進協会	商工観光労働部	18
14	(公社)ツーリズムおおいた	商工観光労働部	19
15	(公社)大分県農業農村振興公社	農林水産部	20
16	(一財)大分県主要農作物改善協会	農林水産部	21
17	(一社)大分県農業会議	農林水産部	22
18	(公社)大分県畜産協会	農林水産部	23
19	(公財)森林ネットおおいた	農林水産部	24
20	(公社)大分県漁業公社	農林水産部	25
21	(公財)大分県建設技術センター	土木建築部	26
22	大分県土地開発公社	土木建築部	27
23	(株)大分国際貿易センター	土木建築部	28
24	大分県住宅供給公社	土木建築部	29
25	(公財)大分県奨学会	教育庁	30
26	(公財)大分県スポーツ協会	教育庁	31
27	(公財)大分県暴力追放運動推進センター	警察本部	32
28	(公財)大分県交通安全協会	警察本部	33

「その他の出資等団体」

No.	団体名	(所管部局)	ページ
1	(株)大分フットボールクラブ	企画振興部	34
2	(株)別府交通センター	企画振興部	35
3	(一財)大分県自動車会議所	企画振興部	36
4	(公財)大分県アイバンク協会	福祉保健部	37
5	(公財)大分県環境管理協会	生活環境部	38
6	大分県信用保証協会	商工観光労働部	39
7	(株)大分放送	商工観光労働部	40
8	大分朝日放送(株)	商工観光労働部	41
9	(株)エフエム大分	商工観光労働部	42
10	大分県デジタルネットワークセンター(株)	商工観光労働部	43
11	大分県農業信用基金協会	農林水産部	44
12	(公社)大分県園芸振興基金協会	農林水産部	45
13	(株)大分県畜産公社	農林水産部	46
14	周防灘フェリー(株)	農林水産部	47
15	(公財)大分県防犯協会	警察本部	48

II 地方独立行政法人（公立大学法人）の経営状況報告概要書

1	公立大学法人大分県立芸術文化短期大学	企画振興部	50
2	公立大学法人大分県立看護科学大学	福祉保健部	52

III 県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

1	県有地の信託	商工観光労働部	56
---	--------	---------	----

(注意)

損益計算書（正味財産増減計算書）及び貸借対照表等の合計については、四捨五入のため一致しない場合があります。

I 県出資法人等の 経営状況報告概要書

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体01

(課・室名) 人事課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県自治人材育成センター 会長 中野 五郎																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,000千円 50.0% 6,000千円																																																		
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 県内自治体職員に対する研修の実施 2 県内自治体が実施する研修に対する支援 3 研修に関する調査研究 4 地域の人材育成の取組に対する支援 5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業 																																																		
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>139,741</td> <td>資産</td> <td>623,783</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>139,653</td> <td>流動資産</td> <td>8,280</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>88</td> <td>固定資産</td> <td>615,503</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>8,280</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>8,280</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td>88</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>615,503</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲26,289</td> <td>指定正味財産</td> <td>615,503</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>615,503</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲26,289</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※当期正味財産増減額▲26,289千円は、建物建設時に一括計上した県負担金及び市町村補助金収入の一部の取り崩し(減価償却費に充当)等によるもの。</p>			○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		経常収益	139,741	資産	623,783	経常費用	139,653	流動資産	8,280	当期経常増減額	88	固定資産	615,503	経常外収益	0	負債	8,280	経常外費用	0	流動負債	8,280	当期経常外増減額	0	固定負債	0	法人税等	88	正味財産(純資産)	615,503	当期一般正味財産増減額	0	一般正味財産	0	当期指定正味財産増減額	▲26,289	指定正味財産	615,503	正味財産期末残高	615,503			当期正味財産増減額	▲26,289		
○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																																		
経常収益	139,741	資産	623,783																																																	
経常費用	139,653	流動資産	8,280																																																	
当期経常増減額	88	固定資産	615,503																																																	
経常外収益	0	負債	8,280																																																	
経常外費用	0	流動負債	8,280																																																	
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																																	
法人税等	88	正味財産(純資産)	615,503																																																	
当期一般正味財産増減額	0	一般正味財産	0																																																	
当期指定正味財産増減額	▲26,289	指定正味財産	615,503																																																	
正味財産期末残高	615,503																																																			
当期正味財産増減額	▲26,289																																																			
5	問題点及び懸案事項	<p>コロナ禍における研修方式として、一部オンライン研修など新たな研修方式の導入を図るとともに、県・市町村職員のネットワークづくりの場を確保しながら、効率的な財団運営を図っていく必要がある。</p>																																																		
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 研修の効果測定を行うため、フォローアップ調査を行い、研修効果の検証を行った上で、研修内容の改善を図る。 2 合同研修の内容充実や、研修期間中に開催される意見交換会等を通じて県と市町村職員のネットワークづくりを促進する。 3 財団の発足から7年が経過し、研修の実施状況等を踏まえ、組織体制の見直しも検討していく。 																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体02

(課・室名) 芸術文化スポーツ振興課

項	目	概	要	等	
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 理事長 御手洗 康			
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	615,934千円 100.0% 615,934千円			
3	事業内容	1 i i c h i k o総合文化センター（大分県立総合文化センター）及び大分県立美術館を拠点とした芸術文化振興事業 2 県民と外国人の相互理解と友好親善を図るための国際交流事業 3 県民のスポーツ意識の向上と多様な交流の場の創造を目的としたスポーツの振興に関する事業 4 地域の活性化を図るための事業 5 公益目的事業以外の施設提供事業及び駐車場運営事業 等			
4	2年度決算状況	○正味財産増減計算書（千円） 経常収益 1,025,168 経常費用 1,025,090 当期経常増減額 77 経常外収益 6,941 経常外費用 0 当期経常外増減額 6,941 当期一般正味財産増減額 7,019 当期指定正味財産増減額 8,365 正味財産期末残高 888,799 当期正味財産増減額 15,384	○貸借対照表（千円） 資産 1,058,094 流動資産 159,875 固定資産 898,219 負債 169,295 流動負債 141,740 固定負債 27,556 正味財産（純資産） 888,799 一般正味財産 132,664 指定正味財産 756,135		
5	問題点及び懸案事項	1 県立総合文化センター及び県立美術館において、県民の幅広いニーズに応えられる多様で質の高い芸術文化事業の展開と健全な財政運営の両立が求められている。 2 「出会いと融合」「ネットワーク」をベースとした大分県の芸術文化の創造と発信を行う必要がある。 3 芸術文化を活用して、教育、産業、福祉などの様々な団体等と連携することにより社会的課題や経済的課題へ対応する必要がある。			
6	対策及び処理状況	1 県立総合文化センターについては、年間ホール利用率87.0%という目標達成のため、各部門のスタッフ連携による利用者の受入体制強化等、利用率の向上を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により貸館行事等の中止や延期が多数生じ42.7%となった。 県立美術館については、年間来館者数50万人という目標達成に対して、新型コロナウイルス感染症の影響により、開館後初となる29日間の長期休館となったほか、企画展等の中止・延期や入場制限等によって25万6千人となった。 2 両施設の連携を強化するため、「西洋絵画400年の旅-珠玉の東京富士美術館コレクション-」に合わせ、美術館展示室内やアトリウムでヴァイオリンコンサートを実施したほか、大分市美術館と連携した共通割引チケットの作成等を行った。 3 障がい者芸術文化活動の普及促進として、「おおいた障がい者芸術文化支援センター」の運営を県から受託し、美術館で障がい者芸術展覧会「あやなす ひかり」を開催した。センターでは、手話通訳や要約筆記、字幕等の鑑賞支援つきで日本舞踊「桃太郎」を上演した。			

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体03

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分高速鉄道保有株式会社 代表取締役 尾野 賢治 (副知事)																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	196,000千円 82.5% 237,500千円																																																						
3	事業内容	<p>日豊本線高速化事業</p> <p>1 平成13年度～15年度</p> <p>①事業区間 日豊本線 大分駅～佐伯駅 (64.9km)</p> <p>②事業内容 最高速度85km/h→110km/hに必要な工事を行った。(枕木のコンクリート化、曲線改良等)</p> <p>③事業効果 60分→52分 (8分間短縮)</p> <p>④事業費 約23億円</p> <p>2 平成16年度～</p> <p>16年3月に竣工した鉄道施設の管理及び九州旅客鉄道株式会社への貸付け</p> <p>※令和10年度に九州旅客鉄道株式会社が施設を買い上げたうえで出資金を県、九州旅客鉄道株式会社に返還し、清算する予定</p>																																																						
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書 (千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>57,950</td> <td>資産</td> <td>279,580</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>0</td> <td>流動資産</td> <td>8,979</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>57,950</td> <td>固定資産</td> <td>270,601</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>42,320</td> <td>負債</td> <td>203,880</td> </tr> <tr> <td>(うち固定資産税</td> <td>5,488)</td> <td>流動負債</td> <td>46,826</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>15,630</td> <td>固定負債</td> <td>157,054</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>0</td> <td>純資産</td> <td>75,700</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>951</td> <td>資本金</td> <td>237,500</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>14,680</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>14,680</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲161,800</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>3,750</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>10,930</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		売上高	57,950	資産	279,580	売上原価	0	流動資産	8,979	売上総利益	57,950	固定資産	270,601	販売費及び一般管理費	42,320	負債	203,880	(うち固定資産税	5,488)	流動負債	46,826	営業利益	15,630	固定負債	157,054	営業外収益	0	純資産	75,700	営業外費用	951	資本金	237,500	経常利益	14,680	資本剰余金	0	税引前当期純利益	14,680	利益剰余金	▲161,800	法人税、住民税及び事業税	3,750			当期純利益	10,930		
○損益計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																																						
売上高	57,950	資産	279,580																																																					
売上原価	0	流動資産	8,979																																																					
売上総利益	57,950	固定資産	270,601																																																					
販売費及び一般管理費	42,320	負債	203,880																																																					
(うち固定資産税	5,488)	流動負債	46,826																																																					
営業利益	15,630	固定負債	157,054																																																					
営業外収益	0	純資産	75,700																																																					
営業外費用	951	資本金	237,500																																																					
経常利益	14,680	資本剰余金	0																																																					
税引前当期純利益	14,680	利益剰余金	▲161,800																																																					
法人税、住民税及び事業税	3,750																																																							
当期純利益	10,930																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>平成28年10月のJR九州株式上場に伴い、減免されていた固定資産税が増となるが、管理費等の削減を行い、清算に大きく影響を及ぼすことはない見込み。</p> <p>平成29年9月の台風第18号により、一部所有資産が被災。当該資産の処分について、鉄道建設・運輸施設整備支援機構等と協議の結果、令和2年3月に財産の処分承認があり、令和3年6月に処分工事が完了したため、今年度、財産の除却処理を行う予定。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	引き続き、安定経営に努める。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体04

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分航空ターミナル株式会社 代表取締役社長 富高 松雄 (R3. 6. 23～ 工藤 正俊)																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	142,500千円 28.8% 495,000千円																																																		
3	事業内容	大分空港の旅客・貨物ターミナルビルを利用する航空会社や旅客等に対する施設、設備、サービスの提供																																																		
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○損益計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>1,567,428</td> <td>資産</td> <td>4,761,202</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>422,806</td> <td>流動資産</td> <td>1,098,799</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>1,144,622</td> <td>固定資産</td> <td>3,662,403</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>1,341,104</td> <td>負債</td> <td>1,880,629</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>▲196,482</td> <td>流動負債</td> <td>457,109</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>249,944</td> <td>固定負債</td> <td>1,423,519</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>31,482</td> <td>純資産</td> <td>2,880,573</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>21,980</td> <td>資本金</td> <td>495,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>21,980</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>2,000</td> <td>利益剰余金</td> <td>2,385,573</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>19,980</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	1,567,428	資産	4,761,202	売上原価	422,806	流動資産	1,098,799	売上総利益	1,144,622	固定資産	3,662,403	販売費及び一般管理費	1,341,104	負債	1,880,629	営業利益	▲196,482	流動負債	457,109	営業外収益	249,944	固定負債	1,423,519	営業外費用	31,482	純資産	2,880,573	経常利益	21,980	資本金	495,000	税引前当期純利益	21,980	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	2,000	利益剰余金	2,385,573	当期純利益	19,980		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																		
売上高	1,567,428	資産	4,761,202																																																	
売上原価	422,806	流動資産	1,098,799																																																	
売上総利益	1,144,622	固定資産	3,662,403																																																	
販売費及び一般管理費	1,341,104	負債	1,880,629																																																	
営業利益	▲196,482	流動負債	457,109																																																	
営業外収益	249,944	固定負債	1,423,519																																																	
営業外費用	31,482	純資産	2,880,573																																																	
経常利益	21,980	資本金	495,000																																																	
税引前当期純利益	21,980	資本剰余金	0																																																	
法人税、住民税及び事業税	2,000	利益剰余金	2,385,573																																																	
当期純利益	19,980																																																			
5	問題点及び懸案事項	<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響により、乗降客数は約56万人(国内線約56万人、国際線0人)となった。乗降客数が60万人を下回るのは、国東市に移転した昭和46年以来49期ぶりである。</p> <p>2 収支については、乗降客数減少に伴う物販飲食売上の減、国内線の減便及び国際線の運休による受託業務収入の減、航空会社の賃料及び施設使用料の減等により大幅な減収となった。その結果、営業利益はマイナスとなったが、雇用調整助成金制度を活用し、当期純利益についてはプラスを確保した。</p>																																																		
6	対策及び処理状況	<p>1 令和3年度から令和5年度までの中期経営計画を策定し、「お客様満足度の高い空港づくり」、「安全・安心な空港づくり」、「SDGsに対応した取組の推進」、「課題解決に向けた提案実行ができる人財の育成」、「事業発展に向けた財務基盤の強化」の重点課題に取り組み、これまで以上の健全経営に努める。</p> <p>2 令和3年度は、ワクチン接種が進み、国内線乗降客数は130万人(平成30年度比70%)まで回復すると予測しており、コスト削減等の取組を推し進め、営業利益の黒字化を目指す。</p>																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体05

(課・室名) 福祉保健企画課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	社会福祉法人大分県社会福祉協議会 会長 草野 俊介																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 15,000千円(特に指導監督する必要がある団体)																																														
3	事業内容	1 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施 2 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 3 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 4 社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修 5 社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言 6 市町村社会福祉協議会の相互の連絡及び事業の調整等																																														
4	2年度決算状況	一般会計(法人全体) ○事業活動計算書(千円) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>収益</td> <td>905,737</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> サービス活動</td> <td>697,818</td> <td> 資産</td> <td>15,800,769</td> </tr> <tr> <td> サービス活動外</td> <td>207,919</td> <td> 流動資産</td> <td>296,640</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>874,535</td> <td> 固定資産</td> <td>15,504,129</td> </tr> <tr> <td> サービス活動</td> <td>677,572</td> <td> 負債</td> <td>13,685,812</td> </tr> <tr> <td> サービス活動外</td> <td>196,963</td> <td> 流動負債</td> <td>117,653</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減差額</td> <td>31,202</td> <td> 固定負債</td> <td>13,568,159</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> 純資産</td> <td>2,114,957</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> うち基本金</td> <td>15,544</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> うち基金</td> <td>254,498</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> うち積立金</td> <td>1,666,092</td> </tr> </table> ※生活福祉資金貸付事業は含まない。			収益	905,737	○貸借対照表(千円)		サービス活動	697,818	資産	15,800,769	サービス活動外	207,919	流動資産	296,640	費用	874,535	固定資産	15,504,129	サービス活動	677,572	負債	13,685,812	サービス活動外	196,963	流動負債	117,653	当期経常増減差額	31,202	固定負債	13,568,159			純資産	2,114,957			うち基本金	15,544			うち基金	254,498			うち積立金	1,666,092
収益	905,737	○貸借対照表(千円)																																														
サービス活動	697,818	資産	15,800,769																																													
サービス活動外	207,919	流動資産	296,640																																													
費用	874,535	固定資産	15,504,129																																													
サービス活動	677,572	負債	13,685,812																																													
サービス活動外	196,963	流動負債	117,653																																													
当期経常増減差額	31,202	固定負債	13,568,159																																													
		純資産	2,114,957																																													
		うち基本金	15,544																																													
		うち基金	254,498																																													
		うち積立金	1,666,092																																													
5	問題点及び懸案事項	1 「経営基盤強化・発展計画2019」に基づき、内部統制機能の強化やコスト縮減等に取り組み、当期経常増減差額は黒字となったが、今後、総合社会福祉会館の老朽化に伴う施設改修などが見込まれることから、引き続き財政基盤の強化に取り組む必要がある。 2 災害発生時における被災地社協への支援や、新型コロナウイルスの影響に伴う減収世帯への資金貸付など、県社協の果たすべき役割は年々増加していることから、組織体制の強化に着実に取り組む必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	1 事務の円滑化、コスト削減といった経営意識を職員一人ひとりが持てるよう、引き続き職員の意識改革に努めるとともに、IT導入等による事務の効率化を進めていく。 2 各階層別研修に加え、災害に関する研修やIT技能、マネジメント能力等、体系的な研修を実施するとともに、優秀な中堅、若手職員の計画的な採用等に積極的に取り組む。																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体06

(課・室名) 健康づくり支援課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県地域保健支援センター 理事長 近藤 稔		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	5,000千円 25.0% 20,000千円		
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 保健医療に関する知識の普及及び啓発 2 保健医療に関する調査研究及び技術の研修 3 結核、がん、循環器疾患及びその他の疾病予防の検診 4 市町村が実施する健康増進事業に対する支援 5 県・市町村その他関係団体への協力 6 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会の支部としての事業 		
4	2年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) 経常収益 624,514 経常費用 614,426 当期経常増減額 10,088 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 当期一般正味財産増減額 10,088 当期指定正味財産増減額 ▲6,300 正味財産期末残高 491,227 当期正味財産増減額 3,788	○貸借対照表(千円) 資産 768,227 流動資産 296,611 固定資産 471,616 負債 276,999 流動負債 63,227 固定負債 213,772 正味財産(純資産) 491,227 一般正味財産 280,352 指定正味財産 210,875	
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 センターの主要事業である検診車による巡回型検診は、少子高齢化や医療機関での個別検診志向の高まり等により受診者数が減少傾向にあることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な減となった。 2 令和2年度は、人件費の削減・減価償却費の減や、センターでの健診における近隣住民の取込み等の経営努力等により、当期の正味財産期末残高は約379万円の増額となった。 		
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 住民検診においては、市町村との連携を強化するとともに、未受診者に対する受診勧奨の拡大を行い、事業所検診では、新規受託・再受託に努め、センターでの健康診断日拡大による収益向上を図る。 2 人件費の削減等により収支は改善しているが、更なる経営の健全化を図るため、令和3年度から7年度までの5カ年を対象とした経営推進計画に沿った安定的な財政運営が行われるよう指導する。 		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体07

(課・室名) 健康づくり支援課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県臓器移植医療協会 理事長 三股 浩光		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	20,000千円 31.0% 64,500千円		
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 県民への移植医療に関する普及啓発事業を行うこと。 2 腎臓の提供者と腎臓移植希望者との調整協力事業を行うこと。 3 医療機関の体制支援及び教育事業を行うこと。 4 腎臓移植希望者への情報提供及び腎臓移植登録支援事業を行うこと。 5 移植医療の学術に関する事業を行うこと。 6 臓器移植コーディネーターの設置及び臓器の移植に関する法律に定める臓器の移植医療推進のための協力支援を行うこと。 7 その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。 		
4	2年度決算状況	○正味財産増減計算書 (千円) 経常収益 5,733 経常費用 5,338 当期経常増減額 395 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 当期正味財産増減額 395	○貸借対照表 (千円) 資産 70,646 流動資産 5,996 固定資産 64,650 負債 109 流動負債 109 固定負債 0 正味財産(純資産) 70,537	
		主な収入 大分県補助金 3,244千円 寄附金(支援型自動販売機等) 1,220千円 賛助会費 902千円 主な支出 移植コーディネーター活動費 2,989千円		
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 腎臓提供・移植件数が停滞していることから、普及・啓発活動の強化が課題である。 2 収入源の約5割を県補助金に依存する中で、経営体質の強化のため、自主財源の確保と拡大を図る必要がある。 		
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 SNS等、多様な広報媒体を活用し、臓器移植に関する県民の理解を深めるとともに、病院内で移植を推進する院内移植コーディネーターの養成を図っていく。 2 平成25年度から支援型自動販売機の設置活動を、26年度から募金箱の設置活動を進めることで、自主財源の確保に努めている。 ※自動販売機は大分大学医学部附属病院等10施設に15台設置。 (R元:15台、783千円 → R2:15台、699千円) ※募金箱は35医療機関に設置。(R元:335千円 → R2:287千円) 		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体08

(課・室名) 食品・生活衛生課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県生活衛生営業指導センター 理事長 野田 皆子 (R3.7.28 ~ 井上 富義)																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 40.0% 5,000千円																																																						
3	事業内容	「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」第57条の3に基づき、昭和58年3月に設立した知事指定団体 1 生活衛生関係営業に対する相談、指導事業 2 情報化整備事業 3 後継者育成支援事業 4 経営指導のための調査事業 5 標準営業約款事業 6 クリーニング師研修等事業																																																						
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>19,762</td> <td>資産</td> <td>14,489</td> </tr> <tr> <td>(うち受取補助金)</td> <td>(17,619)</td> <td>流動資産</td> <td>2,524</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>19,639</td> <td>固定資産</td> <td>11,964</td> </tr> <tr> <td>(うち事業費)</td> <td>(17,619)</td> <td>負債</td> <td>1,171</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>123</td> <td>流動負債</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>1,015</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>13,317</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>8,317</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>123</td> <td>指定正味財産</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>13,317</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>123</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		経常収益	19,762	資産	14,489	(うち受取補助金)	(17,619)	流動資産	2,524	経常費用	19,639	固定資産	11,964	(うち事業費)	(17,619)	負債	1,171	当期経常増減額	123	流動負債	156	経常外収益	0	固定負債	1,015	経常外費用	0	正味財産(純資産)	13,317	当期経常外増減額	0	一般正味財産	8,317	当期一般正味財産増減額	123	指定正味財産	5,000	当期指定正味財産増減額	0			正味財産期末残高	13,317			当期正味財産増減額	123		
○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																																						
経常収益	19,762	資産	14,489																																																					
(うち受取補助金)	(17,619)	流動資産	2,524																																																					
経常費用	19,639	固定資産	11,964																																																					
(うち事業費)	(17,619)	負債	1,171																																																					
当期経常増減額	123	流動負債	156																																																					
経常外収益	0	固定負債	1,015																																																					
経常外費用	0	正味財産(純資産)	13,317																																																					
当期経常外増減額	0	一般正味財産	8,317																																																					
当期一般正味財産増減額	123	指定正味財産	5,000																																																					
当期指定正味財産増減額	0																																																							
正味財産期末残高	13,317																																																							
当期正味財産増減額	123																																																							
5	問題点及び懸案事項	新型コロナウイルスの影響により経営状況が悪化した事業者の継続的な支援が求められる。 また、生活衛生水準の維持・向上のためには、生活衛生営業指導センターの事業を生活衛生関係事業者に利用してもらう必要があるため、取組内容等について周知を図る必要がある。																																																						
6	対策及び処理状況	経営指導員による巡回指導回数の増加や中小企業診断士と連携した支援施策の説明会、業種別ガイドライン実施状況の現地確認など、事業者支援を積極的に行っている。 生活衛生営業指導センターや各組合の取組をまとめたパンフレットを作成し、新規開業者に配布し情報周知を行っている。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体09

(課・室名) 工業振興課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県産業創造機構 理事長 吉村 恭彰		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	206,000千円 23.4% 881,520千円		
3	事業内容	1 経営課題に対する総合相談及び指導 2 取引の振興及び販路拡大の支援 3 新事業・新技術の創出支援 4 人材育成支援 5 産業、経済等に関する調査研究及び情報提供		
4	2年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) ○貸借対照表(千円) 経常収益 557,229 資産 7,410,089 経常費用 555,050 流動資産 273,571 当期経常増減額 2,179 固定資産 7,136,518 経常外収益 510 負債 6,105,045 経常外費用 0 流動負債 210,393 当期経常外増減額 510 固定負債 5,894,652 当期一般正味財産増減額 2,689 正味財産(純資産) 1,305,044 当期指定正味財産増減額 44,845 一般正味財産 380,465 正味財産期末残高 1,305,044 指定正味財産 924,579 当期正味財産増減額 47,534		
5	問題点及び懸案事項	1 地域を取り巻く環境が変化する中、県内中小企業の新たな活力創造と競争力強化を推進する「中核的支援機関」としての役割を効果的に発揮するため、機構が果たすべき役割の再検証と、機構の持続性のある経営基盤の安定化を図ることが重要。 2 低金利で基金運用収入の増加が見込めない中、外部資金等の収入確保に努める必要がある。また、支援機関としての機能の確保と質の向上を図るため、優秀な職員の確保と育成に努める必要がある。		
6	対策及び処理状況	1 「イノベーション支援」等3つの柱を掲げた第三期中期経営計画(R2~4)に取り組んだ結果、初年度は、コロナ禍による影響を受けたものの、計画に定める指標の達成状況については、40件中31件が数値目標を上回っており、計画の着実な推進を図ることができた。令和3年度からはコロナ禍からの回復に合わせ、他の支援機関との連携強化を図りながら、引き続きイノベーション支援や経営力の安定・強化等に取り組んでいく。 2 経営基盤の安定化に向け、会員増や国の委託事業等外部資金の獲得により、収支均衡に向けた取組を強化する。併せて、職員を計画的に採用し、職員の資格取得や研修参加を促進することにより、人材育成を図る。		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体10

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等																						
1	法人名及び代表者名	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎																								
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	150,000千円 35.0% 429,000千円																								
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> ハイパーネットワーク社会に関する調査・研究及び実証実験 ハイパーネットワーク社会に関する研究発表会等の開催 ハイパーネットワーク社会に関する情報の収集及び提供 ハイパーネットワーク社会に関する市民や組織を対象にした情報化の普及啓発及びコンサルティング ハイパーネットワーク社会構築推進のための企画及び運営 ハイパーネットワーク社会に関する内外関係機関等との交流及び協力 																								
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 176,704</td> <td>資産 524,572</td> </tr> <tr> <td>経常費用 160,025</td> <td>流動資産 121,791</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 16,678</td> <td>固定資産 402,781</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 0</td> <td>負債 97,160</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 0</td> <td>流動負債 97,160</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 0</td> <td>固定負債 0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 16,678</td> <td>正味財産(純資産) 427,411</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 0</td> <td>一般正味財産 28,411</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高 427,411</td> <td>指定正味財産 399,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 16,678</td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)	経常収益 176,704	資産 524,572	経常費用 160,025	流動資産 121,791	当期経常増減額 16,678	固定資産 402,781	経常外収益 0	負債 97,160	経常外費用 0	流動負債 97,160	当期経常外増減額 0	固定負債 0	当期一般正味財産増減額 16,678	正味財産(純資産) 427,411	当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 28,411	正味財産期末残高 427,411	指定正味財産 399,000	当期正味財産増減額 16,678	
○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)																									
経常収益 176,704	資産 524,572																									
経常費用 160,025	流動資産 121,791																									
当期経常増減額 16,678	固定資産 402,781																									
経常外収益 0	負債 97,160																									
経常外費用 0	流動負債 97,160																									
当期経常外増減額 0	固定負債 0																									
当期一般正味財産増減額 16,678	正味財産(純資産) 427,411																									
当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 28,411																									
正味財産期末残高 427,411	指定正味財産 399,000																									
当期正味財産増減額 16,678																										
5	問題点及び懸案事項	<p>令和2年度決算は、コロナ禍の新しい生活様式に対応する調査研究・普及啓発活動やGIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT教育支援など新規事業の積極的な実施や、経費の節減、内製化等に努めた結果、16,678千円の黒字となった。</p> <p>引き続き、安定した経営基盤の確立を図るために、新規委託事業等の獲得による収入確保に努める必要がある。</p>																								
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 企業への訪問等により賛助会員企業の拡大に努めるほか、既存事業の継続確保や新規事業の獲得に加え、自主財源を作り出す新たな仕組みの検討を行う。 今後も定期的なモニタリングを継続的に行い、令和元年度に施行された中期経営計画に沿って、経営基盤強化に向けた取組を明確化する。 																								

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体11

(課・室名) 商業・サービス業振興課

項	目	概	要	等	
1	法人名及び代表者名	公益財団法人日田玖珠地域産業振興センター 理事長 原田 啓介			
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,600千円 32.0% 5,000千円			
3	事業内容	1 日田玖珠地域の地場産業に対する支援及び地場製品の販促活動に関する事業の実施 2 日田玖珠地域産業振興センター及び日田市アンテナショップ「ひた生活領事館」における地場製品の展示販売 3 オンラインショップ「ひたマルシェ.com」による地場製品のインターネット販売 4 ふるさと納税返礼品の発送業務 5 日田玖珠地域産業振興センター内の会議室等貸出			
4	2年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) 経常収益 140,721 経常費用 137,228 当期経常増減額 3,493 経常外収益 0 経常外費用 9,614 当期経常外増減額 ▲9,614 当期一般正味財産増減額 ▲6,121 当期指定正味財産増減額 0 正味財産期末残高 462,758 当期正味財産増減額 ▲6,121	○貸借対照表(千円) 資産 488,610 流動資産 58,550 固定資産 430,061 負債 25,852 流動負債 19,403 固定負債 6,449 正味財産(純資産) 462,758 一般正味財産 457,358 指定正味財産 5,400		
5	問題点及び懸案事項	1 公益事業の一つである日田市アンテナショップ終了に伴い、公益法人として維持しなければならない公益事業比率(全事業の50%以上)を下回る可能性があるため、日田市・関係機関とも連携し改善を指導する。 2 令和元年度の収益増に伴い、令和2年度の法人税納付額が大幅に増加したため、4期ぶりに赤字となった。黒字が維持できる事業体制を構築する必要がある。			
6	対策及び処理状況	1 県は、最大出捐者である日田市と協議し、関係機関とも連携しながら、収入確保と経営改善につなげるための支援を行う。 2 公益財団法人としての高い公益性を遵守するために必要な支援を日田市・関係機関とも連携しながら行う。 3 日田玖珠地域が有する特色ある資源を活用した商品発掘や情報発信に取り組む。			

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体12

(課・室名) 商業・サービス業振興課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分ブランドクリエイイト株式会社 代表取締役 安田 恒																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	50,000千円 52.6% 95,000千円																																																						
3	事業内容	大分県フラッグショップ「坐来大分」の運営 1 大分県産の食材を使ったレストランの経営 2 大分県特産品の販売																																																						
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>82,758</td> <td>資産</td> <td>44,194</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>23,316</td> <td>流動資産</td> <td>39,930</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>59,442</td> <td>固定資産</td> <td>4,264</td> </tr> <tr> <td>販売費及び 一般管理費</td> <td>96,048</td> <td>負債</td> <td>8,037</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>▲36,606</td> <td>流動負債</td> <td>7,297</td> </tr> <tr> <td>営業外利益</td> <td>905</td> <td>固定負債</td> <td>740</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>115</td> <td>純資産</td> <td>36,157</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>▲35,815</td> <td>資本金</td> <td>77,500</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>19,169</td> <td>資本準備金</td> <td>17,500</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>▲16,646</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲58,843</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>363</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>▲17,009</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	82,758	資産	44,194	売上原価	23,316	流動資産	39,930	売上総利益	59,442	固定資産	4,264	販売費及び 一般管理費	96,048	負債	8,037	営業利益	▲36,606	流動負債	7,297	営業外利益	905	固定負債	740	営業外費用	115	純資産	36,157	経常利益	▲35,815	資本金	77,500	特別利益	19,169	資本準備金	17,500	税引前当期純利益	▲16,646	利益剰余金	▲58,843	法人税、住民税及び事業税	363			当期純利益	▲17,009		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	82,758	資産	44,194																																																					
売上原価	23,316	流動資産	39,930																																																					
売上総利益	59,442	固定資産	4,264																																																					
販売費及び 一般管理費	96,048	負債	8,037																																																					
営業利益	▲36,606	流動負債	7,297																																																					
営業外利益	905	固定負債	740																																																					
営業外費用	115	純資産	36,157																																																					
経常利益	▲35,815	資本金	77,500																																																					
特別利益	19,169	資本準備金	17,500																																																					
税引前当期純利益	▲16,646	利益剰余金	▲58,843																																																					
法人税、住民税及び事業税	363																																																							
当期純利益	▲17,009																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>1 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初より休業や時短営業を余儀なくされ、ビジネス客を中心に利用客の大幅な減少が続き、2期連続の赤字となった。</p> <p>2 大分ブランドの確立と県産品の販路拡大のため、メディアやバイヤー、有名シェフ、首都圏県産品取扱店とのネットワークの拡大、地域フェアや商談会の開催、県産品の商品開発等に有益な情報の生産者へのフィードバックなど、「坐来大分」のフラッグショップとして担うべき機能をさらに充実していく必要がある。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	<p>1 令和2年度より開始したランチ営業や折詰のテイクアウト、オリジナル商品の開発など、コロナ禍においても工夫を凝らした営業で新規顧客の獲得に取り組んでいる。移転オープンを機に座席や個室数も増やしたことで、今後もさらに多くの利用客を見込み、収益の確保や経営の安定化を図る必要がある。</p> <p>2 百貨店や県産品取扱店との連携による県産品の販売促進、語り部スタッフの研修、商談会や地域フェアの開催など、大分の情報発信に努め、大分県のフラッグショップとしての機能を一層強化する。</p>																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体13

(課・室名) 雇用労働政策課

項	目	概	要	等																																								
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県総合雇用推進協会 会長 杉原 正晴																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	827,620千円 72.6% 1,139,492千円																																										
3	事業内容	1 若年者雇用・人材定住促進対策に関する事業 (1) 若年者等の就職に関する事業 (2) 人材定住に関する事業 2 高齢者・障がい者雇用対策に関する事業 (1) 生涯現役社会実現環境整備に関する事業 (2) 高齢者雇用支援に関する事業 (3) 障がい者の雇用促進に関する事業 3 上記2事業の広報啓発に関する事業																																										
4	2年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>経常収益</td> <td>241,241</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>243,028</td> <td>資産</td> <td>1,308,505</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲1,787</td> <td>流動資産</td> <td>82,700</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>固定資産</td> <td>1,225,805</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>23,435</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>19,998</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲1,787</td> <td>固定負債</td> <td>3,437</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲32,263</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>1,285,070</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>1,285,070</td> <td>一般正味財産</td> <td>80,407</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲34,051</td> <td>指定正味財産</td> <td>1,204,663</td> </tr> </table> ※ 当期正味財産増減額▲34,051千円は、人材定住基金の取り崩しなどによる。			経常収益	241,241	○貸借対照表(千円)		経常費用	243,028	資産	1,308,505	当期経常増減額	▲1,787	流動資産	82,700	経常外収益	0	固定資産	1,225,805	経常外費用	0	負債	23,435	当期経常外増減額	0	流動負債	19,998	当期一般正味財産増減額	▲1,787	固定負債	3,437	当期指定正味財産増減額	▲32,263	正味財産(純資産)	1,285,070	正味財産期末残高	1,285,070	一般正味財産	80,407	当期正味財産増減額	▲34,051	指定正味財産	1,204,663
経常収益	241,241	○貸借対照表(千円)																																										
経常費用	243,028	資産	1,308,505																																									
当期経常増減額	▲1,787	流動資産	82,700																																									
経常外収益	0	固定資産	1,225,805																																									
経常外費用	0	負債	23,435																																									
当期経常外増減額	0	流動負債	19,998																																									
当期一般正味財産増減額	▲1,787	固定負債	3,437																																									
当期指定正味財産増減額	▲32,263	正味財産(純資産)	1,285,070																																									
正味財産期末残高	1,285,070	一般正味財産	80,407																																									
当期正味財産増減額	▲34,051	指定正味財産	1,204,663																																									
5	問題点及び懸案事項	1 平成28年度から、人材定住基金を活用し、自主事業を安定的に実施することとしたが、雇用促進等に効果的に繋げていく必要がある。 2 採用意欲のある県内中小企業の人材確保支援のため、採用活動の多様化・早期化及び新型コロナウイルスの影響に対応した支援を実施する必要がある。																																										
6	対策及び処理状況	1 法人の実施する自主事業が「大分県長期総合計画」の推進に積極的な役割を果たし、県や国からの委託事業と相乗効果が発揮できるようにするため、定期的な協議の場を設け、積極的に意見調整を行う。 2 新規学卒者等対象合同説明会の実施やU I J ターン就職の支援、企業のデジタル求人広告等への支援を行うほか、高齢者・障がい者の雇用推進に取り組む。																																										

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体14

(課・室名) 観光政策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益社団法人ツーリズムおおいた 会長 幸重 綱二																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 0千円（県職員を業務援助のために継続的に3名派遣）																																														
3	事業内容	<p>国内外観光宣伝及び観光客の誘致、観光・地域振興事業の実施、観光地の環境整備、観光情報・地域総合情報の提供、観光従事者の資質向上、観光・地域づくり事業に係る調査研究及び指導、観光・地域づくり関係機関及び団体との連絡調整等を実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インバウンド推進事業 2 国内誘客総合対策事業 3 県域版DMO推進事業 4 観光マーケティング事業 5 おもてなし人材育成事業 等 																																														
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書（千円）</td> <td></td> <td>○貸借対照表（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>701,290</td> <td>資産</td> <td>354,779</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>704,311</td> <td>流動資産</td> <td>317,750</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲3,021</td> <td>固定資産</td> <td>37,029</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>305,478</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>305</td> <td>流動負債</td> <td>305,478</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>▲305</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲3,326</td> <td>正味財産（純資産）</td> <td>49,302</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>13,000</td> <td>一般正味財産</td> <td>12,273</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>49,302</td> <td>指定正味財産</td> <td>37,029</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>9,674</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		経常収益	701,290	資産	354,779	経常費用	704,311	流動資産	317,750	当期経常増減額	▲3,021	固定資産	37,029	経常外収益	0	負債	305,478	経常外費用	305	流動負債	305,478	当期経常外増減額	▲305	固定負債	0	当期一般正味財産増減額	▲3,326	正味財産（純資産）	49,302	当期指定正味財産増減額	13,000	一般正味財産	12,273	正味財産期末残高	49,302	指定正味財産	37,029	当期正味財産増減額	9,674		
○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																														
経常収益	701,290	資産	354,779																																													
経常費用	704,311	流動資産	317,750																																													
当期経常増減額	▲3,021	固定資産	37,029																																													
経常外収益	0	負債	305,478																																													
経常外費用	305	流動負債	305,478																																													
当期経常外増減額	▲305	固定負債	0																																													
当期一般正味財産増減額	▲3,326	正味財産（純資産）	49,302																																													
当期指定正味財産増減額	13,000	一般正味財産	12,273																																													
正味財産期末残高	49,302	指定正味財産	37,029																																													
当期正味財産増減額	9,674																																															
5	問題点及び懸案事項	<p>ツーリズム戦略に基づく本県観光振興の牽引役として、各種の企画及び立案ができるよう組織体制強化が不可欠である。</p> <p>また、持続可能な事業実施のため、自主事業収入の確保等、財政基盤の強化も課題である。</p> <p>令和2年度決算業務の際に確認された用途不明金の徹底した原因の究明と再発防止策の実施が急務である。</p>																																														
6	対策及び処理状況	<p>県域版DMOプラットフォーム機能やマーケティング機能の確立、魅力ある旅行商品等の開発・販売による自主財源（会費、収益事業）増強等に取り組み、DMO（観光地域づくりを多様な主体とともに戦略的に取り組む調整機能を備えた法人）としての態勢強化を図る。</p> <p>用途不明金について、早急な事実関係の確定と再発防止策の徹底を求めることとし、再発防止策については内容を精査し、管理体制を含めて適正な運営の確保に向けて助言、指導を行う。</p>																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体15

(課・室名) 水田畑地化・集落営農課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県農業農村振興公社 理事長 光長 伸彦 (前農林水産部審議監) (R3. 6. 23 ~ 渕野 勇 (農林水産部審議監))																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	480,000千円 64.4% 745,000千円																																														
3	事業内容	1 農地利用の効率化や高度化に関する事業 (農地中間管理事業) 2 畜産公共事業 3 担い手対策・就農支援資金貸付事業 4 大規模リース団地整備支援対策事業 5 世界農業遺産に関する事業 6 大分農業文化公園・都市農村交流研修館管理運営受託事業																																														
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>1,096,431</td> <td>資産</td> <td>9,324,950</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>1,218,393</td> <td>流動資産</td> <td>404,313</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲121,962</td> <td>固定資産</td> <td>8,920,638</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>193,714</td> <td>負債</td> <td>6,672,170</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>50,789</td> <td>流動負債</td> <td>1,829,093</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>142,925</td> <td>固定負債</td> <td>4,843,078</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td>584</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>2,652,780</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>20,379</td> <td>一般正味財産</td> <td>1,644,366</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>18,684</td> <td>指定正味財産</td> <td>1,008,415</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>39,063</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		経常収益	1,096,431	資産	9,324,950	経常費用	1,218,393	流動資産	404,313	当期経常増減額	▲121,962	固定資産	8,920,638	経常外収益	193,714	負債	6,672,170	経常外費用	50,789	流動負債	1,829,093	当期経常外増減額	142,925	固定負債	4,843,078	法人税等	584	正味財産(純資産)	2,652,780	当期一般正味財産増減額	20,379	一般正味財産	1,644,366	当期指定正味財産増減額	18,684	指定正味財産	1,008,415	当期正味財産増減額	39,063		
○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																														
経常収益	1,096,431	資産	9,324,950																																													
経常費用	1,218,393	流動資産	404,313																																													
当期経常増減額	▲121,962	固定資産	8,920,638																																													
経常外収益	193,714	負債	6,672,170																																													
経常外費用	50,789	流動負債	1,829,093																																													
当期経常外増減額	142,925	固定負債	4,843,078																																													
法人税等	584	正味財産(純資産)	2,652,780																																													
当期一般正味財産増減額	20,379	一般正味財産	1,644,366																																													
当期指定正味財産増減額	18,684	指定正味財産	1,008,415																																													
当期正味財産増減額	39,063																																															
5	問題点及び懸案事項	<p>1 農地中間管理事業では、駐在員の活動の定着などもあり、令和2年度の目標である年間600haを超える農地を集積したが、更なる取組が必要である。</p> <p>2 大規模リース団地整備支援対策事業では、毎年の事業規模や繰越の有無等が決算状況を大きく左右する要因となっており、事業量の安定確保と事業量に応じた体制づくりが課題である。</p> <p>3 農業文化公園では、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度上半期の入園者数は前年度比57%の9万9千人であったが、下半期はコキアフェスタ等のイベントが好評を博し、年間の入園者数は前年度比83%の24万3千人まで持ち直した。</p>																																														
6	対策及び処理状況	<p>1 農地中間管理事業では、人・農地プランの実質化や水田畑地化による園芸団地の推進に合わせ、農業委員会等との連携を更に強化し、農地の集積・集約化を一体的に推進する。</p> <p>2 大規模リース団地整備支援対策事業等では、適正な予算確保に向けて、新規実施地区の確保や県・市町との連携強化により安定した事業量の確保に努める。</p> <p>3 農業文化公園では、四季折々の見所づくりを進めながら、利用者ニーズに沿った取組等により入園者数の増加を目指す。</p>																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体16

(課・室名) 水田畑地化・集落営農課

項	目	概	要	等																						
1	法人名及び代表者名	一般財団法人大分県主要農作物改善協会 代表理事 佐土原 斉																								
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	8,000千円 40.0% 20,000千円																								
3	事業内容	1 種子対策事業（主要農作物の種子の確保及び供給等） 2 品質改善対策事業（優良種子の確保）																								
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書（千円）</td> <td>○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>経常収益 89,967</td> <td>資産 140,246</td> </tr> <tr> <td>経常費用 79,142</td> <td>流動資産 120,246</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 10,825</td> <td>固定資産 20,000</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 0</td> <td>負債 9,527</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 0</td> <td>流動負債 9,527</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 0</td> <td>固定負債 0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 10,825</td> <td>正味財産（純資産） 130,720</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 0</td> <td>一般正味財産 130,720</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高 130,720</td> <td>指定正味財産 0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 10,825</td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書（千円）	○貸借対照表（千円）	経常収益 89,967	資産 140,246	経常費用 79,142	流動資産 120,246	当期経常増減額 10,825	固定資産 20,000	経常外収益 0	負債 9,527	経常外費用 0	流動負債 9,527	当期経常外増減額 0	固定負債 0	当期一般正味財産増減額 10,825	正味財産（純資産） 130,720	当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 130,720	正味財産期末残高 130,720	指定正味財産 0	当期正味財産増減額 10,825	
○正味財産増減計算書（千円）	○貸借対照表（千円）																									
経常収益 89,967	資産 140,246																									
経常費用 79,142	流動資産 120,246																									
当期経常増減額 10,825	固定資産 20,000																									
経常外収益 0	負債 9,527																									
経常外費用 0	流動負債 9,527																									
当期経常外増減額 0	固定負債 0																									
当期一般正味財産増減額 10,825	正味財産（純資産） 130,720																									
当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 130,720																									
正味財産期末残高 130,720	指定正味財産 0																									
当期正味財産増減額 10,825																										
5	問題点及び懸案事項	<p>1 稲・麦・大豆の種子確保においては、供給不足や大量の過剰在庫が生じないように計画的な採種に努める必要がある。特に、新品種（稲：なつほのか、麦：ハルアカネ）については、作付推進と連動した種子生産が重要である。</p> <p>2 主要農作物種子法を廃止する法律が平成30年4月1日に施行されたが、同日付けで大分県主要農作物種子制度基本要綱を施行しており、本要綱の趣旨に沿って安定的な種子生産を継続していくことが必要である。</p>																								
6	対策及び処理状況	<p>1 種子確保については、品種ごとの需要動向を勘案した上で県と計画的な採種を実施するとともに、種子在庫状況については、半期ごとに県に報告している。</p> <p>2 県要綱に基づき安定的な種子生産を継続する。</p>																								

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体17

(課・室名) 水田畑地化・集落営農課

項	目	概	要	等																												
1	法人名及び代表者名	一般社団法人大分県農業会議 会長 疋田 忠公																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 0千円 (県の補助金、交付金等の額又は委託料の額が、継続的に団体の財政規模の50%以上である団体)																														
3	事業内容	1 農業委員会等活動強化支援事業 2 機構集積支援事業 3 農業者年金業務委託事業 4 農の雇用事業																														
4	2年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) ○貸借対照表(千円) <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">経常収益</td> <td style="width:10%; text-align:right;">57,271</td> <td style="width:50%;">資産</td> <td style="width:10%; text-align:right;">25,320</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td style="text-align:right;">52,631</td> <td>流動資産</td> <td style="text-align:right;">21,520</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td style="text-align:right;">4,640</td> <td>固定資産</td> <td style="text-align:right;">3,800</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td style="text-align:right;">4,640</td> <td>負債</td> <td style="text-align:right;">20,011</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td style="text-align:right;">0</td> <td>流動負債</td> <td style="text-align:right;">3,044</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td style="text-align:right;">4,640</td> <td>固定負債</td> <td style="text-align:right;">16,967</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>正味財産(純資産)</td> <td style="text-align:right;">5,309</td> </tr> </table>			経常収益	57,271	資産	25,320	経常費用	52,631	流動資産	21,520	当期経常増減額	4,640	固定資産	3,800	当期一般正味財産増減額	4,640	負債	20,011	当期指定正味財産増減額	0	流動負債	3,044	当期正味財産増減額	4,640	固定負債	16,967			正味財産(純資産)	5,309
経常収益	57,271	資産	25,320																													
経常費用	52,631	流動資産	21,520																													
当期経常増減額	4,640	固定資産	3,800																													
当期一般正味財産増減額	4,640	負債	20,011																													
当期指定正味財産増減額	0	流動負債	3,044																													
当期正味財産増減額	4,640	固定負債	16,967																													
		正味財産(純資産)	5,309																													
5	問題点及び懸案事項	1 基本的に財産を有しない団体であるので、収入のほぼ全額が補助金委託料、拠出金によってまかなわれており、財政的に厳しいものがある。 2 大分県農業会議は、農業委員会のサポート業務を担う「農業委員会ネットワーク機構」として、県の指定(H28～)を受けており、農業委員会に対する支援等の業務の適正な実施が求められている。																														
6	対策及び処理状況	1 国庫補助金・委託料等の予算削減に伴い財政的に厳しい状況となっているが、人件費等の抑制や事務経費の削減を図るとともに、一人あたりの業務効率化を図ることで、引き続き財務体質の強化に努める。 2 新任農業委員に対する研修を充実させるなど、資質の向上を図るとともに、農業委員会事務局長会議を開催し、委員会相互のネットワークの強化を図る。																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体18

(課・室名) 畜産振興課

項	目	概	要	等																																								
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県畜産協会 会長 近藤 和義 (R3.6.18～ 森 誠一)																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	125,000千円 44.9% 278,240千円																																										
3	事業内容	<p>畜産経営の安定的発展と畜産振興を促進する事業</p> <p>1 畜産経営体に対する経営及び技術改善指導等を実施する事業</p> <p>2 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補てんする事業</p> <p>3 消費者ニーズに沿った生産を推進する事業</p> <p>4 家畜衛生対策を推進する事業</p> <p>5 種畜(肉用牛、豚)の改良を推進する事業</p> <p>6 一般消費者に対し畜産への理解を深めてもらうための事業</p>																																										
4	2年度決算状況	<p>○正味財産増減計算書(千円) ○貸借対照表(千円)</p> <table border="0"> <tr> <td>経常収益</td> <td>423,607</td> <td>資産</td> <td>1,368,568</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>414,362</td> <td>流動資産</td> <td>142,786</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>9,244</td> <td>固定資産</td> <td>1,225,782</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>1,005,583</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>38,171</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>967,412</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>9,244</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>362,984</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>362,984</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>362,984</td> <td>指定正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>9,244</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			経常収益	423,607	資産	1,368,568	経常費用	414,362	流動資産	142,786	当期経常増減額	9,244	固定資産	1,225,782	経常外収益	0	負債	1,005,583	経常外費用	0	流動負債	38,171	当期経常外増減額	0	固定負債	967,412	当期一般正味財産増減額	9,244	正味財産(純資産)	362,984	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	362,984	正味財産期末残高	362,984	指定正味財産	0	当期正味財産増減額	9,244		
経常収益	423,607	資産	1,368,568																																									
経常費用	414,362	流動資産	142,786																																									
当期経常増減額	9,244	固定資産	1,225,782																																									
経常外収益	0	負債	1,005,583																																									
経常外費用	0	流動負債	38,171																																									
当期経常外増減額	0	固定負債	967,412																																									
当期一般正味財産増減額	9,244	正味財産(純資産)	362,984																																									
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	362,984																																									
正味財産期末残高	362,984	指定正味財産	0																																									
当期正味財産増減額	9,244																																											
5	問題点及び懸案事項	<p>1 新型コロナウイルス対策事業等に取り組むとともに、積極的に農家支援事業の推進を図ることで2期連続の黒字を確保したが、畜産経営を取り巻く環境には飼料価格高騰等の懸念材料があり、支援団体として畜産農家を継続的に支援するための自主財源の確保等、経営安定化を図る必要がある。</p> <p>2 職員の定年退職等を見据え、人材の確保と育成を行う必要がある。</p>																																										
6	対策及び処理状況	<p>1 畜産の規模拡大や経営改善を促進する事業、各種経営安定対策制度の推進及び新規参入を促進する事業等の取り組みにより畜産振興に努め、これら事業の手数料収入による自主財源の確保を図る。また経営安定のため、より一層の業務執行体制の効率化による事務費等の縮減に努める。</p> <p>2 計画的に必要な人材の採用、育成を行うことで、事業展開を確実に進める。</p>																																										

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体19

(課・室名) 林務管理課

項 目	概 要 等																											
1 法人名及び代表者名	公益財団法人森林ネットおおいた 理事長 重本 悟																											
2 県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,200,000千円 75.0% 4,268,075千円																											
3 事業内容	1 林業労働力確保促進事業（各種保険等への助成、機械リース等） 2 林業研修事業（林業研修所の指定管理受託、おおいた林業アカデミーの実施） 3 森林整備事業（県営林の管理等） 4 緑化推進事業（緑の募金事業、緑化啓発等） 5 県民の森事業（県民の森の指定管理受託） 6 付帯事業（県営林毎木調査等収益事業）																											
4 2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 703,135</td> <td>資産 5,156,795</td> </tr> <tr> <td>経常費用 693,275</td> <td>流動資産 694,966</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 9,860</td> <td>固定資産 4,461,829</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 0</td> <td>負債 117,351</td> </tr> <tr> <td>法人税等 274</td> <td>流動負債 105,037</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 9,586</td> <td>固定負債 12,314</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 555</td> <td>正味財産(純資産) 5,039,444</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 10,141</td> <td>一般正味財産 5,036,778</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定正味財産 2,666</td> </tr> </table>	○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)	経常収益 703,135	資産 5,156,795	経常費用 693,275	流動資産 694,966	当期経常増減額 9,860	固定資産 4,461,829	当期経常外増減額 0	負債 117,351	法人税等 274	流動負債 105,037	当期一般正味財産増減額 9,586	固定負債 12,314	当期指定正味財産増減額 555	正味財産(純資産) 5,039,444	当期正味財産増減額 10,141	一般正味財産 5,036,778		指定正味財産 2,666							
○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																											
経常収益 703,135	資産 5,156,795																											
経常費用 693,275	流動資産 694,966																											
当期経常増減額 9,860	固定資産 4,461,829																											
当期経常外増減額 0	負債 117,351																											
法人税等 274	流動負債 105,037																											
当期一般正味財産増減額 9,586	固定負債 12,314																											
当期指定正味財産増減額 555	正味財産(純資産) 5,039,444																											
当期正味財産増減額 10,141	一般正味財産 5,036,778																											
	指定正味財産 2,666																											
5 問題点及び懸案事項	1 令和2年度決算では、効率的な事業実施により、目標を上回る10,141千円の収益を計上している。 2 経営の安定化を図るためには、基本財産の安全かつ効率的な運用による運用益確保と事業の効率化が必要である。 ・経営状況の推移 ① 目標及び決算数値（当期正味財産増減額）（単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標増減額</td> <td>17,715</td> <td>8,509</td> <td>2,044</td> <td>2,077</td> </tr> <tr> <td>決算増減額</td> <td>23,156</td> <td>12,014</td> <td>12,742</td> <td>10,141</td> </tr> </tbody> </table> ② 基本財産の運用益の推移（単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金 額</td> <td>94,702</td> <td>98,149</td> <td>83,200</td> <td>84,622</td> <td>79,229</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	H29	H30	R元	R2	目標増減額	17,715	8,509	2,044	2,077	決算増減額	23,156	12,014	12,742	10,141	年 度	H28	H29	H30	R元	R2	金 額	94,702	98,149	83,200	84,622	79,229
年 度	H29	H30	R元	R2																								
目標増減額	17,715	8,509	2,044	2,077																								
決算増減額	23,156	12,014	12,742	10,141																								
年 度	H28	H29	H30	R元	R2																							
金 額	94,702	98,149	83,200	84,622	79,229																							
6 対策及び処理状況	中期経営計画（H30～R4）に基づき、引き続き安定した経営に努めるとともに、人材の確保・育成を図ることで持続的に事業実施が可能な体制を構築する。																											

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体20

(課・室名) 水産振興課

項	目	概	要	等																		
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県漁業公社 理事長 景平 真明 (農林水産部審議監)																				
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	50,000千円 59.2% 84,400千円																				
3	事業内容	1 放流用種苗の生産・販売及びあっせん 2 養殖用種苗の生産・販売及びあっせん																				
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 193,706</td> <td>資産 129,370</td> </tr> <tr> <td>経常費用 186,106</td> <td>流動資産 91,696</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 7,600</td> <td>固定資産 37,674</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 0</td> <td>負債 42,392</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 32,029</td> <td>流動負債 13,350</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 ▲32,029</td> <td>固定負債 29,042</td> </tr> <tr> <td>法人税等 330</td> <td>正味財産(純資産) 86,978</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 ▲24,759</td> <td></td> </tr> </table> <p>※当期正味財産増減額▲24,759千円の主な要因 ・施設の解体費 32,029千円</p>			○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)	経常収益 193,706	資産 129,370	経常費用 186,106	流動資産 91,696	当期経常増減額 7,600	固定資産 37,674	経常外収益 0	負債 42,392	経常外費用 32,029	流動負債 13,350	当期経常外増減額 ▲32,029	固定負債 29,042	法人税等 330	正味財産(純資産) 86,978	当期正味財産増減額 ▲24,759	
○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)																					
経常収益 193,706	資産 129,370																					
経常費用 186,106	流動資産 91,696																					
当期経常増減額 7,600	固定資産 37,674																					
経常外収益 0	負債 42,392																					
経常外費用 32,029	流動負債 13,350																					
当期経常外増減額 ▲32,029	固定負債 29,042																					
法人税等 330	正味財産(純資産) 86,978																					
当期正味財産増減額 ▲24,759																						
5	問題点及び懸案事項	<p>1 国東事業場の建て替えに伴い解体工事費を捻出したことから、当期正味財産増減額は▲24,759千円となったが、当期経常増減額は7,600千円と6年連続で黒字を確保している。次年度以降も解体工事を予定していることから、引き続き工事の効率的な執行や通常経費の削減に努める必要がある。</p> <p>2 建替工事を行いながら業務の継続となるが、確実な種苗生産を行う必要がある。</p>																				
6	対策及び処理状況	<p>1 解体工事の効率的な執行を図るとともに、材料費や燃料費の節減など職員のコスト意識の徹底により経費削減を図る。</p> <p>2 建替工事と種苗生産との綿密なスケジュール調整により、安定した種苗生産体制を確保する。</p>																				

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体21

(課・室名) 建設政策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県建設技術センター 理事長 阿部 洋祐 (R3. 4. 1～湯地 三子弘)																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	20,000千円 66.7% 30,000千円																																														
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会資本の整備及び県土づくりを担う人材育成に向けた技術・技能の研修、普及啓発及び情報提供事業 2 社会資本の整備や維持管理、県土づくり等に関する技術相談及び積算、技術審査、品質監理、検査等に係る支援事業 3 社会資本の品質確保に係る各種材料試験及び調査研究事業 4 社会資本の情報化へ向けての支援事業 5 その他目的を達成するために必要な事業 																																														
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>430,145</td> <td>資産</td> <td>1,462,303</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>351,472</td> <td>流動資産</td> <td>199,799</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>78,673</td> <td>固定資産</td> <td>1,262,504</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>20</td> <td>負債</td> <td>117,722</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>3,848</td> <td>流動負債</td> <td>33,919</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>▲3,828</td> <td>固定負債</td> <td>83,803</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>74,845</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>1,344,581</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>1,314,581</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>1,344,581</td> <td>指定正味財産</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>74,845</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		経常収益	430,145	資産	1,462,303	経常費用	351,472	流動資産	199,799	当期経常増減額	78,673	固定資産	1,262,504	経常外収益	20	負債	117,722	経常外費用	3,848	流動負債	33,919	当期経常外増減額	▲3,828	固定負債	83,803	当期一般正味財産増減額	74,845	正味財産(純資産)	1,344,581	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	1,314,581	正味財産期末残高	1,344,581	指定正味財産	30,000	当期正味財産増減額	74,845		
○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																														
経常収益	430,145	資産	1,462,303																																													
経常費用	351,472	流動資産	199,799																																													
当期経常増減額	78,673	固定資産	1,262,504																																													
経常外収益	20	負債	117,722																																													
経常外費用	3,848	流動負債	33,919																																													
当期経常外増減額	▲3,828	固定負債	83,803																																													
当期一般正味財産増減額	74,845	正味財産(純資産)	1,344,581																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	1,314,581																																													
正味財産期末残高	1,344,581	指定正味財産	30,000																																													
当期正味財産増減額	74,845																																															
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 建設産業従事者の減少を踏まえた担い手確保、県土づくりを担う建設人材の育成、新技術を使った生産性向上など幅広い分野での貢献が必要である。 2 公益財団法人として安定的な法人運営を継続しながら、県及び市町村の支援・補完機関として、さらに体制や連携の強化を図る必要がある。 																																														
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 建設業関連団体、教育機関、自治体と連携した情報発信などにより、担い手確保のための活動を実施するとともに、民間建設業関係者も含めた技術・技能向上のための研修事業の充実に取り組む。 2 県・市町村の支援・補完機関として、相談業務、積算業務、施工監理、技術者育成、災害等緊急時の支援など、ニーズに合わせた的確な事業を実施する。特に、県・市町村が共同利用する積算システムの運営に取り組み、一括管理による積算業務の効率化や災害発生時の応援体制の円滑化を図る。 																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体22

(課・室名) 用地対策課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県土地開発公社 理事長 山本 修司																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	30,000千円 100% 30,000千円																																																		
3	事業内容	<p>国、地方公共団体の委託等に基づく道路、公園、その他公共施設等に要する土地の取得、造成、管理及び売却等</p> <p>1 公有地取得・売却事業（道路、公園等の用地買収、売却等） 2 土地造成・売却事業（工業団地等の造成、管理、売却等） 3 あっせん等事業（用地取得のあっせん、調査、測量等） 4 関連施設整備事業（公共施設又は公用施設の整備）</p>																																																		
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>5,062,758</td> <td>資産</td> <td>7,584,038</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>5,028,898</td> <td>流動資産</td> <td>7,423,357</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>33,860</td> <td>固定資産</td> <td>160,681</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>23,879</td> <td>負債</td> <td>6,055,925</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>9,981</td> <td>流動負債</td> <td>3,884,448</td> </tr> <tr> <td>営業外利益</td> <td>4,736</td> <td>固定負債</td> <td>2,171,477</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>0</td> <td>純資産</td> <td>1,528,113</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>14,717</td> <td>資本金</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>30</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>0</td> <td>利益剰余金</td> <td>1,498,113</td> </tr> <tr> <td>当期損益</td> <td>14,747</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	5,062,758	資産	7,584,038	売上原価	5,028,898	流動資産	7,423,357	売上総利益	33,860	固定資産	160,681	販売費及び一般管理費	23,879	負債	6,055,925	営業利益	9,981	流動負債	3,884,448	営業外利益	4,736	固定負債	2,171,477	営業外費用	0	純資産	1,528,113	経常利益	14,717	資本金	30,000	特別利益	30	資本剰余金	0	特別損失	0	利益剰余金	1,498,113	当期損益	14,747		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																		
売上高	5,062,758	資産	7,584,038																																																	
売上原価	5,028,898	流動資産	7,423,357																																																	
売上総利益	33,860	固定資産	160,681																																																	
販売費及び一般管理費	23,879	負債	6,055,925																																																	
営業利益	9,981	流動負債	3,884,448																																																	
営業外利益	4,736	固定負債	2,171,477																																																	
営業外費用	0	純資産	1,528,113																																																	
経常利益	14,717	資本金	30,000																																																	
特別利益	30	資本剰余金	0																																																	
特別損失	0	利益剰余金	1,498,113																																																	
当期損益	14,747																																																			
5	問題点及び懸案事項	<p>1 毎年度増減する国、県、市町村の用地取得事業等に対し、公社の有する専門性とノウハウを活用し各事業主体を効率的にサポートするためにも、事業を安定的に受託することが課題である。</p> <p>2 大分北部中核工業団地（全28区画）の残る2区画と、平成30年度に造成工事が完了した玖珠工業団地（全2区画）の残る1区画について、早期売却を図る必要がある。</p>																																																		
6	対策及び処理状況	<p>1 平成29年度、県と公社で向こう5カ年の中期事業計画を策定し、以降毎年度事業量を見直し、計画を更新している。今後も更新を継続し、計画的かつ効率的な業務執行体制を整備し、事業を実施していく。</p> <p>2 公社保有の工業用地については、県の事業所管課と連携して売却促進に努める。</p>																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体23

(課・室名) 港湾課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	株式会社大分国際貿易センター 代表取締役社長 藤澤 崇資																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	180,000千円 27.3% 659,000千円																																																		
3	事業内容	1 大分国際貿易センタービル、冷凍冷蔵倉庫、食品流通加工センターなど不動産の賃貸業 2 大分港大在コンテナターミナルの管理運営（指定管理受託） 3 関係機関と連携したポートセールス																																																		
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○損益計算書（千円）</td> <td></td> <td>○貸借対照表（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>129,398</td> <td>資産</td> <td>931,567</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>94,499</td> <td>流動資産</td> <td>402,436</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>34,899</td> <td>固定資産</td> <td>529,131</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>18,809</td> <td>負債</td> <td>93,962</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>16,090</td> <td>流動負債</td> <td>61,616</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>15,289</td> <td>固定負債</td> <td>32,345</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>31,378</td> <td>純資産</td> <td>837,605</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>2,457</td> <td>資本金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>28,921</td> <td>及び資本準備金</td> <td>659,000</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>9,016</td> <td>利益剰余金</td> <td>178,605</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>19,905</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	129,398	資産	931,567	売上原価	94,499	流動資産	402,436	売上総利益	34,899	固定資産	529,131	販売費及び一般管理費	18,809	負債	93,962	営業利益	16,090	流動負債	61,616	営業外収益	15,289	固定負債	32,345	経常利益	31,378	純資産	837,605	特別損失	2,457	資本金		税引前当期純利益	28,921	及び資本準備金	659,000	法人税、住民税及び事業税	9,016	利益剰余金	178,605	当期純利益	19,905		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																		
売上高	129,398	資産	931,567																																																	
売上原価	94,499	流動資産	402,436																																																	
売上総利益	34,899	固定資産	529,131																																																	
販売費及び一般管理費	18,809	負債	93,962																																																	
営業利益	16,090	流動負債	61,616																																																	
営業外収益	15,289	固定負債	32,345																																																	
経常利益	31,378	純資産	837,605																																																	
特別損失	2,457	資本金																																																		
税引前当期純利益	28,921	及び資本準備金	659,000																																																	
法人税、住民税及び事業税	9,016	利益剰余金	178,605																																																	
当期純利益	19,905																																																			
5	問題点及び懸案事項	1 冷凍冷蔵倉庫等賃貸施設が整備後24年を経過するなど所有建物の老朽化が進んでいる。コスト削減など経営改善により、平成13年度から20期連続して黒字となっているものの、経営の安定化を図る観点から、計画的な維持管理・更新を行う必要がある。 2 県の港湾施設であるコンテナクレーンも平成8年に供用されたものであり、老朽化による深刻な故障の発生など経営への影響が懸念される。 3 関係機関と連携したポートセールスにより、更なる大在コンテナターミナルの利用促進を図る必要がある。																																																		
6	対策及び処理状況	1 中長期的なトータルコストの縮減・平準化のため、老朽化が進んだ施設の維持管理計画による、計画的な施設改修・更新を今後も継続し、安定的な経営を行う。 2 コンテナクレーンの機能停止は航路の休止・撤退に繋がる恐れがあるため、更新について県と協議していく。 3 今後とも、県等が実施する港湾施設使用料の減免や、条件不利地域等に対する助成制度などを活用し、県や大分市、関係団体と連携したポートセールスに努める。																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体24

(課・室名) 建築住宅課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県住宅供給公社 理事長 山本 修司																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	10,000千円 100% 10,000千円																																																		
3	事業内容	1 受託事業 公営住宅管理受託（大分県、大分市、佐伯市、竹田市、豊後高田市、豊後大野市、臼杵市、杵築市、別府市、中津市、由布市） 2 賃貸管理事業 公社所有賃貸住宅・施設の管理 3 分譲事業 分譲宅地の販売（国東市向陽台）																																																		
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>1,306,622</td> <td>資産</td> <td>3,055,509</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,149,897</td> <td>流動資産</td> <td>696,447</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>156,725</td> <td>固定資産</td> <td>2,359,061</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>65,178</td> <td>負債</td> <td>840,393</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>91,547</td> <td>流動負債</td> <td>274,678</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>325</td> <td>固定負債</td> <td>565,715</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>18,690</td> <td>純資産</td> <td>2,215,115</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>73,182</td> <td>資本金</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>0</td> <td>資本剰余金</td> <td>1,350,896</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>60</td> <td>利益剰余金</td> <td>854,219</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>73,121</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	1,306,622	資産	3,055,509	売上原価	1,149,897	流動資産	696,447	売上総利益	156,725	固定資産	2,359,061	販売費及び一般管理費	65,178	負債	840,393	営業利益	91,547	流動負債	274,678	営業外収益	325	固定負債	565,715	営業外費用	18,690	純資産	2,215,115	経常利益	73,182	資本金	10,000	特別利益	0	資本剰余金	1,350,896	特別損失	60	利益剰余金	854,219	当期純利益	73,121		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																		
売上高	1,306,622	資産	3,055,509																																																	
売上原価	1,149,897	流動資産	696,447																																																	
売上総利益	156,725	固定資産	2,359,061																																																	
販売費及び一般管理費	65,178	負債	840,393																																																	
営業利益	91,547	流動負債	274,678																																																	
営業外収益	325	固定負債	565,715																																																	
営業外費用	18,690	純資産	2,215,115																																																	
経常利益	73,182	資本金	10,000																																																	
特別利益	0	資本剰余金	1,350,896																																																	
特別損失	60	利益剰余金	854,219																																																	
当期純利益	73,121																																																			
5	問題点及び懸案事項	1 公営住宅管理受託者として、サービスの向上、家賃収納率の向上、個人情報の保護など適切な管理をしていくとともに、県営・市営住宅の窓口一元化による県民サービスの向上や経費の縮減等経営努力を行う必要がある。また、未受託の市に対して新規受託の協議を進める必要がある。 2 残された分譲用資産である国東市向陽台分譲宅地の早期売却を図る必要がある。																																																		
6	対策及び処理状況	1 県営・市営住宅の一体的な管理により、住居相談のワンストップ化など入居サービス水準の向上を図るため、今後も受託事業における公営住宅の管理代行を拡充するとともに、受託済みの市においても、窓口の一元化を進める。また、経営の安定のため、より一層の業務執行の効率化や、県民サービス向上に向けて職員の資質向上に取組み、適正な管理体制の整備に努める。 未受託の市に対しての新規受託に関しては、各市の状況を考慮しながら、1市でも多く受託できるよう協議を進める。 2 戸建住宅用地は残りわずか（全260区画中249区画販売済）であるが、商業施設用地・集合住宅用地（各1区画）は販売の目途が立っていないことから、用途にこだわらず有効活用策について検討を進める。																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体25

(課・室名) 教育財務課

項	目	概	要	等																																								
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県奨学会 理事長 久家 里三																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	475,911千円 23.4% 2,034,173千円																																										
3	事業内容	<p>1 奨学資金の貸与 令和2年度実績 〈高等学校等奨学金〉</p> <table border="0"> <tr> <td>一般奨学金</td> <td>1,160人</td> <td>323,498千円</td> </tr> <tr> <td>通学費等奨学金</td> <td>46人</td> <td>2,252千円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費等奨学金</td> <td>4人</td> <td>560千円</td> </tr> <tr> <td>入学支度金</td> <td>254人</td> <td>19,900千円</td> </tr> <tr> <td>〈大学奨学金〉</td> <td>305人</td> <td>174,604千円</td> </tr> </table> <p>2 奨学資金の貸与を受ける学生及び生徒の補導 3 その他目的を達成するために必要な事業</p>			一般奨学金	1,160人	323,498千円	通学費等奨学金	46人	2,252千円	修学旅行費等奨学金	4人	560千円	入学支度金	254人	19,900千円	〈大学奨学金〉	305人	174,604千円																									
一般奨学金	1,160人	323,498千円																																										
通学費等奨学金	46人	2,252千円																																										
修学旅行費等奨学金	4人	560千円																																										
入学支度金	254人	19,900千円																																										
〈大学奨学金〉	305人	174,604千円																																										
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>37,006</td> <td>資産</td> <td>10,738,334</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>32,327</td> <td>流動資産</td> <td>36,237</td> </tr> <tr> <td>評価損益</td> <td>▲5,607</td> <td>固定資産</td> <td>10,702,097</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲928</td> <td>負債</td> <td>6,685,452</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>1,836</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲928</td> <td>固定負債</td> <td>6,683,616</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>4,052,882</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>4,052,882</td> <td>一般正味財産</td> <td>2,610,170</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲928</td> <td>指定正味財産</td> <td>1,442,712</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	37,006	資産	10,738,334	経常費用	32,327	流動資産	36,237	評価損益	▲5,607	固定資産	10,702,097	当期経常増減額	▲928	負債	6,685,452	当期経常外増減額	0	流動負債	1,836	当期一般正味財産増減額	▲928	固定負債	6,683,616	当期指定正味財産増減額	0	正味財産(純資産)	4,052,882	正味財産期末残高	4,052,882	一般正味財産	2,610,170	当期正味財産増減額	▲928	指定正味財産	1,442,712
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																										
経常収益	37,006	資産	10,738,334																																									
経常費用	32,327	流動資産	36,237																																									
評価損益	▲5,607	固定資産	10,702,097																																									
当期経常増減額	▲928	負債	6,685,452																																									
当期経常外増減額	0	流動負債	1,836																																									
当期一般正味財産増減額	▲928	固定負債	6,683,616																																									
当期指定正味財産増減額	0	正味財産(純資産)	4,052,882																																									
正味財産期末残高	4,052,882	一般正味財産	2,610,170																																									
当期正味財産増減額	▲928	指定正味財産	1,442,712																																									
5	問題点及び懸案事項	<p>奨学金の返還時期を迎える者の数の増加とともに、返還が滞る者の数も増加しており、法人経営の安定と、将来の奨学金事業の財源確保のため、返還金債権の確実な回収が課題となっている。</p> <p style="text-align: right;">(単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H17</th> <th>H22</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>返還対象者数</td> <td>1,920</td> <td>4,447</td> <td>15,178</td> <td>15,455</td> </tr> <tr> <td>滞納者数</td> <td>188</td> <td>704</td> <td>2,539</td> <td>2,744</td> </tr> <tr> <td>返還率(%)</td> <td>83.5</td> <td>79.5</td> <td>76.4</td> <td>76.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※返還率=返還額÷返還予定額</p>			年度	H17	H22	R01	R02	返還対象者数	1,920	4,447	15,178	15,455	滞納者数	188	704	2,539	2,744	返還率(%)	83.5	79.5	76.4	76.7																				
年度	H17	H22	R01	R02																																								
返還対象者数	1,920	4,447	15,178	15,455																																								
滞納者数	188	704	2,539	2,744																																								
返還率(%)	83.5	79.5	76.4	76.7																																								
6	対策及び処理状況	<p>1 平成21年度から債権管理事務委託の導入により、専らその回収に従事する職員を配置し、平成24年度からは人数を2人に増員するとともに債権管理に精通した人材を配置することで返還率の向上に努めている。</p> <p>2 口座振替の推進や文書催告・支払督促等の法的手段による債権回収の取組を強化することで、返還率等の向上に取り組んでいる。</p>																																										

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体26

(課・室名) 体育保健課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県スポーツ協会 会長 麻生 益直																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 14.3% 13,958千円																																														
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 国民体育大会・九州ブロック大会等の各種スポーツ大会及びスポーツに関する技術・体力・競技力の向上に対する助成並びに指導者の資質向上等を図る事業 スポーツを通じて児童・青少年の健全な育成を図るための各種大会の開催、助成並びにスポーツに関する講習会・研修会等の開催及び助成事業 スポーツに関する指導体制等の拡充及びスポーツ選手の育成・強化等に関する事業並びに地域のスポーツ振興及びスポーツに関する団体の組織拡充等に関する事業 スポーツの健全な普及・振興等に功績のあった個人・団体に対する表彰事業 スポーツ水準の向上を図るためのスポーツ医科学等の調査研究等に関する事業 ホームページの運営、広報誌発行等によるスポーツの普及事業並びに関係機関への情報提供、連携等によるスポーツ振興に関する事業 																																														
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>120,100</td> <td>資産</td> <td>52,013</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>116,161</td> <td>流動資産</td> <td>31,662</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>3,939</td> <td>固定資産</td> <td>20,351</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>10,861</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>1</td> <td>流動負債</td> <td>10,861</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>▲1</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>3,939</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>41,152</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>38,568</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>41,152</td> <td>指定正味財産</td> <td>2,584</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>3,939</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	120,100	資産	52,013	経常費用	116,161	流動資産	31,662	当期経常増減額	3,939	固定資産	20,351	経常外収益	0	負債	10,861	経常外費用	1	流動負債	10,861	当期経常外増減額	▲1	固定負債	0	当期一般正味財産増減額	3,939	正味財産(純資産)	41,152	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	38,568	正味財産期末残高	41,152	指定正味財産	2,584	当期正味財産増減額	3,939		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	120,100	資産	52,013																																													
経常費用	116,161	流動資産	31,662																																													
当期経常増減額	3,939	固定資産	20,351																																													
経常外収益	0	負債	10,861																																													
経常外費用	1	流動負債	10,861																																													
当期経常外増減額	▲1	固定負債	0																																													
当期一般正味財産増減額	3,939	正味財産(純資産)	41,152																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	38,568																																													
正味財産期末残高	41,152	指定正味財産	2,584																																													
当期正味財産増減額	3,939																																															
5	問題点及び懸案事項	県からの負担金が経常収益の7割を超えていることを踏まえ、安定的な自主財源の確保による財政基盤の確立が必要となっている。																																														
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 財政基盤の確立に向け、平成29年度から加盟団体分担金を改定し、自主財源の増額を図った。 ホームページによる広報等を通じて、企業・個人に対する賛助会員の拡大に努める。 スポーツ振興、県民体力の向上を推進する役割が十分果たせるよう、組織的に取り組む体制の整備に向け、県として指導・協力を行っていく。 																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体27

(課・室名) 警察本部 組織犯罪対策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人暴力追放大分県民会議 理事長 姫野 清高 (R3. 6. 23～公益財団法人大分県暴力追放運動推進センター 理事長 古庄 玄知)																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	465,000千円 76.3% 609,500千円																																														
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 暴力根絶のための啓発及び広報 2 暴力団員による不当な行為に関する相談 3 少年に対する暴力団の影響を排除するための活動 4 暴力団から離脱する意思を有する者を助けるための活動 5 事業所責任者講習の実施 6 住民からの委託による暴力団事務所使用差止請求（いわゆる代理訴訟）等 																																														
4	2年度決算状況	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td style="text-align: right;">24,445</td> <td>資産</td> <td style="text-align: right;">634,337</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td style="text-align: right;">22,948</td> <td>流動資産</td> <td style="text-align: right;">12,476</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td style="text-align: right;">1,497</td> <td>固定資産</td> <td style="text-align: right;">621,861</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>負債</td> <td style="text-align: right;">6,292</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>流動負債</td> <td style="text-align: right;">1,254</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>固定負債</td> <td style="text-align: right;">5,038</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td style="text-align: right;">1,497</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td style="text-align: right;">628,045</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>一般正味財産</td> <td style="text-align: right;">623,042</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td style="text-align: right;">628,045</td> <td>指定正味財産</td> <td style="text-align: right;">5,003</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td style="text-align: right;">1,497</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	24,445	資産	634,337	経常費用	22,948	流動資産	12,476	当期経常増減額	1,497	固定資産	621,861	経常外収益	0	負債	6,292	経常外費用	0	流動負債	1,254	当期経常外増減額	0	固定負債	5,038	当期一般正味財産増減額	1,497	正味財産(純資産)	628,045	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	623,042	正味財産期末残高	628,045	指定正味財産	5,003	当期正味財産増減額	1,497		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	24,445	資産	634,337																																													
経常費用	22,948	流動資産	12,476																																													
当期経常増減額	1,497	固定資産	621,861																																													
経常外収益	0	負債	6,292																																													
経常外費用	0	流動負債	1,254																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	5,038																																													
当期一般正味財産増減額	1,497	正味財産(純資産)	628,045																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	623,042																																													
正味財産期末残高	628,045	指定正味財産	5,003																																													
当期正味財産増減額	1,497																																															
5	問題点及び懸案事項	賛助会員の獲得が困難化の傾向にあることから、企業訪問（令和2年度:1,291社実施）や不当要求防止責任者講習（同：18回708人受講）を通じて、県民の理解を得ながら賛助金の獲得に努める必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	賛助会員の新規開拓等を推進し、資金基盤の整備及び安定運用を図る。																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体28

(課・室名) 警察本部 交通企画課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県交通安全協会 会長 杉原 正晴		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 45,155千円		
3	事業内容	1 適正な交通の方法、交通事故の防止及び交通安全思想の普及のための広報啓発、交通安全教育に関する事業 2 交通事故の防止及び交通秩序維持のための優良運転者の育成及び運転者教育に関する事業 3 道路における交通の安全と円滑を推進するための企画、調査研究に関する事業 4 その他、目的を達成するために必要な事業		
4	2年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) ○貸借対照表(千円) 経常収益 870,608 資産 1,616,750 経常費用 858,075 流動資産 726,908 当期経常増減額 12,532 固定資産 889,842 経常外収益 0 負債 218,455 経常外費用 112 流動負債 99,451 当期経常外増減額 ▲112 固定負債 119,004 当期一般正味財産増減額 12,420 正味財産(純資産) 1,398,294 当期指定正味財産増減額 0 指定正味財産 0 正味財産期末残高 1,398,294 一般正味財産 1,398,294 当期正味財産増減額 12,420		
5	問題点及び懸案事項	事業面は、令和2年中の県下の交通事故死者数は43名で、前年に比べて2名の増加となったが、発生件数及び負傷者数ともに減少するなど、一定の効果を実現できている。 財政面は、平成26年から実施した財政再建計画により経常黒字となったが、平成29・30年度は、講習収益や会費収入が減少し赤字となった。 令和2年度は、自動車学校事業収益の増収により経常黒字となったが、今後は、免許更新者数の減少に伴い、経常赤字となることも懸念される。		
6	対策及び処理状況	今後、更新者の減少が予想されることから、業務の効率化を図るとともに、会費収入の増加等に努める必要がある。		

県出資法人の経営状況報告概要書

その他01

(課・室名) 芸術文化スポーツ振興課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	株式会社大分フットボールクラブ 代表取締役社長 榎 徹																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	10,000千円 12.4% 80,519千円																																																		
3	事業内容	1 サッカーチーム（大分トリニータ）の経営 2 サッカー等のスポーツ選手の養成、指導並びに管理業務 3 スポーツ教室の開催、普及 4 各種イベントの企画運営等																																																		
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○損益計算書</td> <td>(千円)</td> <td>○貸借対照表</td> <td>(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>1,756,751</td> <td>資産</td> <td>570,317</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,604,422</td> <td>流動資産</td> <td>456,771</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>152,328</td> <td>固定資産</td> <td>113,546</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>312,838</td> <td>負債</td> <td>477,625</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>▲160,509</td> <td>流動負債</td> <td>352,625</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>4,188</td> <td>固定負債</td> <td>125,000</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>934</td> <td>純資産</td> <td>92,692</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>▲157,256</td> <td>資本金</td> <td>40,267</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>▲164,327</td> <td>資本剰余金</td> <td>40,252</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>▲30,550</td> <td>利益剰余金</td> <td>12,173</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>▲133,777</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書	(千円)	○貸借対照表	(千円)	売上高	1,756,751	資産	570,317	売上原価	1,604,422	流動資産	456,771	売上総利益	152,328	固定資産	113,546	販売費及び一般管理費	312,838	負債	477,625	営業利益	▲160,509	流動負債	352,625	営業外収益	4,188	固定負債	125,000	営業外費用	934	純資産	92,692	経常利益	▲157,256	資本金	40,267	税引前当期純利益	▲164,327	資本剰余金	40,252	法人税、住民税及び事業税	▲30,550	利益剰余金	12,173	当期純利益	▲133,777		
○損益計算書	(千円)	○貸借対照表	(千円)																																																	
売上高	1,756,751	資産	570,317																																																	
売上原価	1,604,422	流動資産	456,771																																																	
売上総利益	152,328	固定資産	113,546																																																	
販売費及び一般管理費	312,838	負債	477,625																																																	
営業利益	▲160,509	流動負債	352,625																																																	
営業外収益	4,188	固定負債	125,000																																																	
営業外費用	934	純資産	92,692																																																	
経常利益	▲157,256	資本金	40,267																																																	
税引前当期純利益	▲164,327	資本剰余金	40,252																																																	
法人税、住民税及び事業税	▲30,550	利益剰余金	12,173																																																	
当期純利益	▲133,777																																																			
5	問題点及び懸案事項	1 チケット収入やスポンサー収入等の収益の確保と、あらゆる経費の削減に引き続き努めるとともに、持続可能な経営体となるための経営体質の強化が求められている。 2 新型コロナウイルスの影響で、今季のホームゲームも入場可能数の50%（14,000人）の入場制限が行われていることから、事業の柱である試合運営によるチケット収入の確保に大きな影響が生じており経営環境が非常に厳しくなっている。 また、ユニフォームスポンサーの確保など、スポンサーへの営業活動の強化が急務となっている。																																																		
6	対策及び処理状況	1 平成21年度の経営危機以降、経営体制の刷新、新たなスポンサーの獲得などによる収入の確保、人件費をはじめとするあらゆる経費の削減など合理化に努めている。 2 新型コロナウイルス感染症の影響で経営環境が非常に厳しい状況の中、経営基盤強化の新たな対策としてクラウドファンディングに取組み、目標金額の5,000万円を上回る8,896万円の支援金を募ることができた。 今後も様々な手段を活用し収入確保を図り、J1定着に向けクラブの経営基盤の安定に取り組むこととしている。																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

その他02

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社別府交通センター 代表取締役社長 杉原 正晴																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	39,000千円 21.7% 180,000千円																																																						
3	事業内容	1 別府国際観光港前バスターミナルの運営、管理業務 2 土産品等の販売 3 食堂の経営及び飲食物類の販売																																																						
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>120,929</td> <td>資産</td> <td>302,102</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>75,086</td> <td>流動資産</td> <td>235,715</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>45,842</td> <td>固定資産</td> <td>66,387</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>83,160</td> <td>負債</td> <td>149,372</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>▲37,317</td> <td>流動負債</td> <td>32,382</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>579</td> <td>固定負債</td> <td>116,990</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>46</td> <td>純資産</td> <td>152,730</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>▲36,784</td> <td>資本金</td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td>特別損益</td> <td>4,362</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>▲32,422</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲27,270</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>▲3,420</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>▲29,002</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	120,929	資産	302,102	売上原価	75,086	流動資産	235,715	売上総利益	45,842	固定資産	66,387	販売費及び一般管理費	83,160	負債	149,372	営業利益	▲37,317	流動負債	32,382	営業外収益	579	固定負債	116,990	営業外費用	46	純資産	152,730	経常利益	▲36,784	資本金	180,000	特別損益	4,362	資本剰余金	0	税引前当期純利益	▲32,422	利益剰余金	▲27,270	法人税、住民税及び事業税	▲3,420			当期純利益	▲29,002		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	120,929	資産	302,102																																																					
売上原価	75,086	流動資産	235,715																																																					
売上総利益	45,842	固定資産	66,387																																																					
販売費及び一般管理費	83,160	負債	149,372																																																					
営業利益	▲37,317	流動負債	32,382																																																					
営業外収益	579	固定負債	116,990																																																					
営業外費用	46	純資産	152,730																																																					
経常利益	▲36,784	資本金	180,000																																																					
特別損益	4,362	資本剰余金	0																																																					
税引前当期純利益	▲32,422	利益剰余金	▲27,270																																																					
法人税、住民税及び事業税	▲3,420																																																							
当期純利益	▲29,002																																																							
5	問題点及び懸案事項	新型コロナウイルスの影響による来客者数の減少																																																						
6	対策及び処理状況	新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、今後の観光需要の状況を見極め、誘客促進や販売商品の充実など営業の強化に取り組み、売上額回復を図る。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他03

(課・室名) 交通政策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	一般財団法人大分県自動車会議所 理事長 漢 二美																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	500千円 20.4% 2,450千円																																														
3	事業内容	1 交通会館の経営及び維持 2 交通安全事業の促進及び協力 3 自動車に関する調査研究及び普及宣伝 4 自動車に関する事業者間の連絡協調 5 自動車に関する意見の公表及び関係諸官庁への諸願建議																																														
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算表(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>28,725</td> <td>資 産</td> <td>127,148</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>21,509</td> <td>流動資産</td> <td>7,204</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>7,216</td> <td>固定資産</td> <td>119,945</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>9,082</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>1,366</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>7,716</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>7,216</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>118,066</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>65,092</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>118,066</td> <td>指定正味財産</td> <td>52,975</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>7,216</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>長期借入金 4,016 (平成24年4月から10年間で返済予定)</p>			○正味財産増減計算表(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	28,725	資 産	127,148	経常費用	21,509	流動資産	7,204	当期経常増減額	7,216	固定資産	119,945	経常外収益	0	負債	9,082	経常外費用	0	流動負債	1,366	当期経常外増減額	0	固定負債	7,716	当期一般正味財産増減額	7,216	正味財産(純資産)	118,066	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	65,092	正味財産期末残高	118,066	指定正味財産	52,975	当期正味財産増減額	7,216		
○正味財産増減計算表(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	28,725	資 産	127,148																																													
経常費用	21,509	流動資産	7,204																																													
当期経常増減額	7,216	固定資産	119,945																																													
経常外収益	0	負債	9,082																																													
経常外費用	0	流動負債	1,366																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	7,716																																													
当期一般正味財産増減額	7,216	正味財産(純資産)	118,066																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	65,092																																													
正味財産期末残高	118,066	指定正味財産	52,975																																													
当期正味財産増減額	7,216																																															
5	問題点及び懸案事項	会館建築後から43年が経過したため、施設の老朽化に伴い各設備の修繕等が必要となる可能性がある。																																														
6	対策及び処理状況	会館の維持、適正な運営を継続する。																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

その他04

(課・室名) 健康づくり支援課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県アイバンク協会 理事長 久保田 敏昭																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	5,000千円 7.0% 71,000千円																																														
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 献眼する者の募集及び登録に関する事業を行うこと。 2 提供される眼球の摘出、輸送、検査、保存及びあっせんに関する事業を行うこと。 3 献眼及び角膜移植に関する知識の普及啓発に関する事業を行うこと。 4 その他当法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。 																																														
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>2,866</td> <td>資産</td> <td>75,011</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>3,094</td> <td>流動資産</td> <td>3,807</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲228</td> <td>固定資産</td> <td>71,205</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲228</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>75,000</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">主な収入</td> </tr> <tr> <td>寄附金</td> <td>1,299千円</td> </tr> <tr> <td>眼球斡旋手数料(0眼)</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>賛助会費</td> <td>790千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主な支出</td> </tr> <tr> <td>職員人件費</td> <td>1,294千円</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		経常収益	2,866	資産	75,011	経常費用	3,094	流動資産	3,807	当期経常増減額	▲228	固定資産	71,205	経常外収益	0	負債	11	経常外費用	0	流動負債	11	当期経常外増減額	0	固定負債	0	当期正味財産増減額	▲228	正味財産(純資産)	75,000	主な収入		寄附金	1,299千円	眼球斡旋手数料(0眼)	0千円	賛助会費	790千円	主な支出		職員人件費	1,294千円
○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																														
経常収益	2,866	資産	75,011																																													
経常費用	3,094	流動資産	3,807																																													
当期経常増減額	▲228	固定資産	71,205																																													
経常外収益	0	負債	11																																													
経常外費用	0	流動負債	11																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																													
当期正味財産増減額	▲228	正味財産(純資産)	75,000																																													
主な収入																																																
寄附金	1,299千円																																															
眼球斡旋手数料(0眼)	0千円																																															
賛助会費	790千円																																															
主な支出																																																
職員人件費	1,294千円																																															
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 献眼者数を確保するため、普及・啓発活動の強化が課題である。 2 経営体質の強化のため、寄附金の増収対策等による経営体質の強化が課題である。 																																														
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 SNS等、多様な広報媒体を活用し、献眼に関する県民の理解を深めていく。 2 寄附金収入の増加を図るため、平成25年度から支援型自動販売機及び募金箱の設置を進めており、自主財源の確保に努めている。 ※自動販売機は大分大学医学部附属病院等に合計9台を設置。 (R元:9台、429千円 → R2:9台、339千円) ※募金箱は59個設置。(R元:468千円 → R2:380千円) 																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

その他05

(課・室名) 循環社会推進課

項	目	概	要	等																						
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県環境管理協会 理事長 森口 孝行 (R3. 6. 29～ 穴南 幸司)																								
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,000千円 2.5% 40,000千円																								
3	事業内容	1 浄化槽法に基づく法定検査及び放流水の水質検査 2 環境衛生関係の各種講習会や調査研究																								
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 450,443</td> <td>資産 562,967</td> </tr> <tr> <td>経常費用 420,402</td> <td>流動資産 168,334</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 30,040</td> <td>固定資産 394,633</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 0</td> <td>負債 168,201</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 0</td> <td>流動負債 57,502</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 0</td> <td>固定負債 110,698</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 30,040</td> <td>正味財産(純資産) 394,767</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 0</td> <td>一般正味財産 374,767</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高 394,767</td> <td>指定正味財産 20,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 30,040</td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)	経常収益 450,443	資産 562,967	経常費用 420,402	流動資産 168,334	当期経常増減額 30,040	固定資産 394,633	経常外収益 0	負債 168,201	経常外費用 0	流動負債 57,502	当期経常外増減額 0	固定負債 110,698	当期一般正味財産増減額 30,040	正味財産(純資産) 394,767	当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 374,767	正味財産期末残高 394,767	指定正味財産 20,000	当期正味財産増減額 30,040	
○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)																									
経常収益 450,443	資産 562,967																									
経常費用 420,402	流動資産 168,334																									
当期経常増減額 30,040	固定資産 394,633																									
経常外収益 0	負債 168,201																									
経常外費用 0	流動負債 57,502																									
当期経常外増減額 0	固定負債 110,698																									
当期一般正味財産増減額 30,040	正味財産(純資産) 394,767																									
当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 374,767																									
正味財産期末残高 394,767	指定正味財産 20,000																									
当期正味財産増減額 30,040																										
5	問題点及び懸案事項	<p>浄化槽法に基づく法定検査(11条検査)受検率の向上</p> <p>※11条検査:年1回の定期検査</p>																								
6	対策及び処理状況	<p>11条検査の受検率は令和元年度43.6%から、令和2年度44.9%となり、改善している。</p> <p>引き続き、受検率向上の取組として、受検率の低い単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため関係機関と連携し、各種啓発・普及活動等を実施していく。</p>																								

県出資法人の経営状況報告概要書

その他06

(課・室名) 経営創造・金融課

項	目	概	要	等																				
1	法人名及び代表者名	大分県信用保証協会 会長 日高 雅近																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,367,217千円 21.3% 15,844,460千円																						
3	事業内容	<p>中小企業者が金融機関から借入等する場合の借入金等に対してその債務保証をすること (令和2年度保証承諾実績) 19,222件、225,590百万円</p> <p>(令和2年度末保証債務残高) 26,909件、259,880百万円</p>																						
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 2,360,021</td> <td>資産 289,964,642</td> </tr> <tr> <td>経常費用 1,723,298</td> <td>流動資産 28,490,585</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 636,722</td> <td>固定資産 1,594,484</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 1,997,875</td> <td>保証債務見返 259,879,573</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 2,837,258</td> <td>負債 268,509,844</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 ▲839,383</td> <td>流動負債 6,354,142</td> </tr> <tr> <td>正味財産期首残額 21,657,460</td> <td>固定負債 2,276,129</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残額 21,454,798</td> <td>保証債務 259,879,573</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 ▲202,661</td> <td>正味財産 21,454,798</td> </tr> </table> <p>※ 新型コロナウイルス関連保証により保証債務残高が激増し、責任準備金の大幅積み増しが発生。 ※ 収支差額変動準備金の取崩しにより当期収支差額は0円となる。</p>			○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)	経常収益 2,360,021	資産 289,964,642	経常費用 1,723,298	流動資産 28,490,585	当期経常増減額 636,722	固定資産 1,594,484	経常外収益 1,997,875	保証債務見返 259,879,573	経常外費用 2,837,258	負債 268,509,844	当期経常外増減額 ▲839,383	流動負債 6,354,142	正味財産期首残額 21,657,460	固定負債 2,276,129	正味財産期末残額 21,454,798	保証債務 259,879,573	当期正味財産増減額 ▲202,661	正味財産 21,454,798
○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																							
経常収益 2,360,021	資産 289,964,642																							
経常費用 1,723,298	流動資産 28,490,585																							
当期経常増減額 636,722	固定資産 1,594,484																							
経常外収益 1,997,875	保証債務見返 259,879,573																							
経常外費用 2,837,258	負債 268,509,844																							
当期経常外増減額 ▲839,383	流動負債 6,354,142																							
正味財産期首残額 21,657,460	固定負債 2,276,129																							
正味財産期末残額 21,454,798	保証債務 259,879,573																							
当期正味財産増減額 ▲202,661	正味財産 21,454,798																							
5	問題点及び懸案事項	引き続き健全な経営の継続と安定した経営基盤の確立を目指すとともに、中小企業者が必要とする資金の信用保証業務を適切に行い、中小企業金融の円滑化と中小企業の経営改善に寄与する必要がある。																						
6	対策及び処理状況	令和3年3月に策定した第6次中期事業計画並びに各年次経営計画に掲げる業務運営方針及び基本目標を着実に実行することにより、健全経営の継続と中小企業金融の円滑化等への寄与に努めていく。																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他07

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社大分放送 代表取締役社長 永田 悠三郎																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	32,000千円 12.3% 260,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づくラジオ放送 2 放送法に基づくテレビ放送 3 その他放送に関連する事業																																																						
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>4,557,894</td> <td>資産</td> <td>7,261,460</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,824,590</td> <td>流動資産</td> <td>3,007,087</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>2,733,304</td> <td>固定資産</td> <td>4,254,373</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>2,227,694</td> <td>負債</td> <td>3,646,985</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>210,838</td> <td>流動負債</td> <td>1,950,020</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>85,333</td> <td>固定負債</td> <td>1,696,965</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>16,669</td> <td>純資産</td> <td>3,614,475</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>279,502</td> <td>資本金</td> <td>260,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>332,696</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>37,992</td> <td>利益剰余金</td> <td>3,268,295</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>0</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>86,180</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>243,107</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	4,557,894	資産	7,261,460	売上原価	1,824,590	流動資産	3,007,087	売上総利益	2,733,304	固定資産	4,254,373	販売費及び一般管理費	2,227,694	負債	3,646,985	営業利益	210,838	流動負債	1,950,020	営業外収益	85,333	固定負債	1,696,965	営業外費用	16,669	純資産	3,614,475	経常利益	279,502	資本金	260,000	税引前当期純利益	332,696	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	37,992	利益剰余金	3,268,295	法人税等調整額	0	評価・換算差額等	86,180	当期純利益	243,107		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	4,557,894	資産	7,261,460																																																					
売上原価	1,824,590	流動資産	3,007,087																																																					
売上総利益	2,733,304	固定資産	4,254,373																																																					
販売費及び一般管理費	2,227,694	負債	3,646,985																																																					
営業利益	210,838	流動負債	1,950,020																																																					
営業外収益	85,333	固定負債	1,696,965																																																					
営業外費用	16,669	純資産	3,614,475																																																					
経常利益	279,502	資本金	260,000																																																					
税引前当期純利益	332,696	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	37,992	利益剰余金	3,268,295																																																					
法人税等調整額	0	評価・換算差額等	86,180																																																					
当期純利益	243,107																																																							
5	問題点及び懸案事項	黒字決算を継続しており、今後も安定した経営が見込まれる。																																																						
6	対策及び処理状況	今後も、地域に密着した番組制作の充実強化に取り組むとともに、積極的な営業活動に努める。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他08

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分朝日放送株式会社 代表取締役社長 橋本 仁																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	150,000千円 5.0% 3,000,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づくテレビ放送事業 2 催し物・イベント等の事業																																																						
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>3,513,061</td> <td>資産</td> <td>8,208,005</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,653,477</td> <td>流動資産</td> <td>4,783,751</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>1,859,584</td> <td>固定資産</td> <td>3,424,253</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>1,736,972</td> <td>負債</td> <td>1,189,206</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>122,611</td> <td>流動負債</td> <td>732,124</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>19,728</td> <td>固定負債</td> <td>457,082</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>2,287</td> <td>純資産</td> <td>7,018,798</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>140,053</td> <td>資本金</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>140,053</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>68,355</td> <td>利益剰余金</td> <td>4,004,257</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>▲16,529</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>14,540</td> </tr> <tr> <td><u>当期純利益</u></td> <td><u>88,226</u></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	3,513,061	資産	8,208,005	売上原価	1,653,477	流動資産	4,783,751	売上総利益	1,859,584	固定資産	3,424,253	販売費及び一般管理費	1,736,972	負債	1,189,206	営業利益	122,611	流動負債	732,124	営業外収益	19,728	固定負債	457,082	営業外費用	2,287	純資産	7,018,798	経常利益	140,053	資本金	3,000,000	税引前当期純利益	140,053	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	68,355	利益剰余金	4,004,257	法人税等調整額	▲16,529	評価・換算差額等	14,540	<u>当期純利益</u>	<u>88,226</u>		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	3,513,061	資産	8,208,005																																																					
売上原価	1,653,477	流動資産	4,783,751																																																					
売上総利益	1,859,584	固定資産	3,424,253																																																					
販売費及び一般管理費	1,736,972	負債	1,189,206																																																					
営業利益	122,611	流動負債	732,124																																																					
営業外収益	19,728	固定負債	457,082																																																					
営業外費用	2,287	純資産	7,018,798																																																					
経常利益	140,053	資本金	3,000,000																																																					
税引前当期純利益	140,053	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	68,355	利益剰余金	4,004,257																																																					
法人税等調整額	▲16,529	評価・換算差額等	14,540																																																					
<u>当期純利益</u>	<u>88,226</u>																																																							
5	問題点及び懸案事項	黒字決算を継続しており、今後も安定した経営が見込まれる。																																																						
6	対策及び処理状況	今後も積極的な営業活動、業務効率化を行うとともに、地域への情報発信に取り組む。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他09

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社エフエム大分 代表取締役社長 田中 竜																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	4,000千円 5.0% 80,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づく超短波放送事業及びその他放送関連事業 2 音楽会、演奏会等各種行事の企画及び開催に関する文化事業																																																						
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>298,887</td> <td>資産</td> <td>266,705</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>187,987</td> <td>流動資産</td> <td>150,824</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>110,900</td> <td>固定資産</td> <td>115,881</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>165,429</td> <td>負債</td> <td>129,778</td> </tr> <tr> <td>営業損失</td> <td>54,528</td> <td>流動負債</td> <td>30,281</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>4,297</td> <td>固定負債</td> <td>99,497</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>7,653</td> <td>純資産</td> <td>136,927</td> </tr> <tr> <td>経常損失</td> <td>57,885</td> <td>資本金</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純損失</td> <td>57,885</td> <td>資本剰余金</td> <td>163,914</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>587</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲111,322</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>0</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>4,336</td> </tr> <tr> <td><u>当期純損失</u></td> <td><u>58,471</u></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	298,887	資産	266,705	売上原価	187,987	流動資産	150,824	売上総利益	110,900	固定資産	115,881	販売費及び一般管理費	165,429	負債	129,778	営業損失	54,528	流動負債	30,281	営業外収益	4,297	固定負債	99,497	営業外費用	7,653	純資産	136,927	経常損失	57,885	資本金	80,000	税引前当期純損失	57,885	資本剰余金	163,914	法人税、住民税及び事業税	587	利益剰余金	▲111,322	法人税等調整額	0	評価・換算差額等	4,336	<u>当期純損失</u>	<u>58,471</u>		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	298,887	資産	266,705																																																					
売上原価	187,987	流動資産	150,824																																																					
売上総利益	110,900	固定資産	115,881																																																					
販売費及び一般管理費	165,429	負債	129,778																																																					
営業損失	54,528	流動負債	30,281																																																					
営業外収益	4,297	固定負債	99,497																																																					
営業外費用	7,653	純資産	136,927																																																					
経常損失	57,885	資本金	80,000																																																					
税引前当期純損失	57,885	資本剰余金	163,914																																																					
法人税、住民税及び事業税	587	利益剰余金	▲111,322																																																					
法人税等調整額	0	評価・換算差額等	4,336																																																					
<u>当期純損失</u>	<u>58,471</u>																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>平成29年から本社移転、親局の移転、中継局等の設備更新など設備投資が続いていることや、新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響を受けて、営業利益、経常利益ともにマイナスとなっている。</p> <p>令和3年度第一四半期の売り上げについては、前年度と同程度を維持しており、今後設備更新にかかる償却が順次終了していくため、数年後の黒字を目指していく。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	<p>目標の売上を確保するとともに、人件費や一般管理費、自社制作比率の向上による番組費の抑制などに取り組んでいるほか、30周年事業の実施や、イベント実施などにより新規リスナーの確保や、新たなスポンサーの開拓などの取組を行っている。</p> <p>県としては、経営改善に向け定期的なモニタリングを継続する。</p>																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他10

(課・室名) D X 推進 課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分県デジタルネットワークセンター株式会社 代表取締役社長 上村 忠																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 3.6% 56,000千円																																																						
3	事業内容	1 デジタル放送設備の共同利用 2 地上波放送の受信点の共同利用 3 自主制作番組の相互利用																																																						
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>44,537</td> <td>資産</td> <td>78,736</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>36,116</td> <td>流動資産</td> <td>78,736</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>8,421</td> <td>固定資産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>7,670</td> <td>負債</td> <td>5,767</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>751</td> <td>流動負債</td> <td>5,767</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>4,879</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>4,970</td> <td>純資産</td> <td>72,969</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>660</td> <td>資本金</td> <td>56,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>660</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>324</td> <td>利益剰余金</td> <td>16,969</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>0</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>336</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	44,537	資産	78,736	売上原価	36,116	流動資産	78,736	売上総利益	8,421	固定資産	0	販売費及び一般管理費	7,670	負債	5,767	営業利益	751	流動負債	5,767	営業外収益	4,879	固定負債	0	営業外費用	4,970	純資産	72,969	経常利益	660	資本金	56,000	税引前当期純利益	660	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	324	利益剰余金	16,969	法人税等調整額	0	評価・換算差額等	0	当期純利益	336		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	44,537	資産	78,736																																																					
売上原価	36,116	流動資産	78,736																																																					
売上総利益	8,421	固定資産	0																																																					
販売費及び一般管理費	7,670	負債	5,767																																																					
営業利益	751	流動負債	5,767																																																					
営業外収益	4,879	固定負債	0																																																					
営業外費用	4,970	純資産	72,969																																																					
経常利益	660	資本金	56,000																																																					
税引前当期純利益	660	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	324	利益剰余金	16,969																																																					
法人税等調整額	0	評価・換算差額等	0																																																					
当期純利益	336																																																							
5	問題点及び懸案事項	条件不利地域における情報格差の是正及び、地域情報化の推進に資するため、今後も安定した経営が必要である。																																																						
6	対策及び処理状況	今後も安定した事業運営に努める。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他11

(課・室名) 団体指導・金融課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県農業信用基金協会 会長理事 壁村 雄吉																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,030,430千円 24.1% 4,284,330千円																																																		
3	事業内容	1 農業者等に対する債務保証業務 2 求償権回収業務																																																		
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○収支計算書(千円)</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>295,392</td> <td>資産</td> <td>92,927,361</td> </tr> <tr> <td> 事業収入</td> <td>224,967</td> <td> 流動資産</td> <td>2,833,118</td> </tr> <tr> <td> 補助金等収入</td> <td>19,103</td> <td> 固定資産</td> <td>5,900,199</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>51,322</td> <td> 債務保証見返</td> <td>84,194,045</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>248,248</td> <td>負債</td> <td>87,038,184</td> </tr> <tr> <td> 事業費</td> <td>4,393</td> <td> 流動負債</td> <td>497,321</td> </tr> <tr> <td> 管理費</td> <td>157,842</td> <td> 固定負債</td> <td>2,346,818</td> </tr> <tr> <td> その他の支出</td> <td>86,013</td> <td> 保証債務</td> <td>84,194,045</td> </tr> <tr> <td>当期収支差額</td> <td>47,144</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>5,889,178</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> うち基本(資本)金</td> <td>5,842,034</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> うち当期正味財産増減額</td> <td>47,144</td> </tr> </table>			○収支計算書(千円)	○貸借対照表(千円)			収入	295,392	資産	92,927,361	事業収入	224,967	流動資産	2,833,118	補助金等収入	19,103	固定資産	5,900,199	その他の収入	51,322	債務保証見返	84,194,045	支出	248,248	負債	87,038,184	事業費	4,393	流動負債	497,321	管理費	157,842	固定負債	2,346,818	その他の支出	86,013	保証債務	84,194,045	当期収支差額	47,144	正味財産(純資産)	5,889,178			うち基本(資本)金	5,842,034			うち当期正味財産増減額	47,144
○収支計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																																																			
収入	295,392	資産	92,927,361																																																	
事業収入	224,967	流動資産	2,833,118																																																	
補助金等収入	19,103	固定資産	5,900,199																																																	
その他の収入	51,322	債務保証見返	84,194,045																																																	
支出	248,248	負債	87,038,184																																																	
事業費	4,393	流動負債	497,321																																																	
管理費	157,842	固定負債	2,346,818																																																	
その他の支出	86,013	保証債務	84,194,045																																																	
当期収支差額	47,144	正味財産(純資産)	5,889,178																																																	
		うち基本(資本)金	5,842,034																																																	
		うち当期正味財産増減額	47,144																																																	
5	問題点及び懸案事項	<p>期中管理の徹底を図り、代位弁済の減少に努めることで安定した経営が見込まれる。</p> <p style="text-align: right;">(金額単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代弁件数</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>18</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>代弁金額</td> <td>75,709</td> <td>28,924</td> <td>15,367</td> <td>54,913</td> <td>11,135</td> </tr> </tbody> </table>			年度	H28	H29	H30	R1	R2	代弁件数	15	7	8	18	9	代弁金額	75,709	28,924	15,367	54,913	11,135																														
年度	H28	H29	H30	R1	R2																																															
代弁件数	15	7	8	18	9																																															
代弁金額	75,709	28,924	15,367	54,913	11,135																																															
6	対策及び処理状況	<p>融資機関等に対する研修会を通じて、債務保証制度の周知を図るとともに、保証案件の事故を未然に防ぐため、融資機関・行政等と連携した期中管理の強化を行っている。</p>																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

その他12

(課・室名) 園芸振興課

項	目	概	要	等																						
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県園芸振興基金協会 会長理事 佐土原 斉																								
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	25,000千円 24.9% 100,170千円																								
3	事業内容	<p>野菜及び果実の安定的な生産出荷の推進、生産農家の経営安定の支援、青果物の需給拡大を図るため、以下の事業を行っている。</p> <p>1 野菜価格安定事業 価格が下落した場合の価格差補給交付金の交付を通じて農家の経営安定と再生産並びに青果物の安定供給を図る。</p> <p>2 果樹経営支援対策事業 優良品目・品種への転換、未収益期間に加え、園地整備等、労働生産性の向上を図り、果樹産地の生産体制強化を図る。</p> <p>3 消費拡大対策事業 県農業祭等で野菜・果実の消費拡大PR活動を実施。</p>																								
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 174,091</td> <td>資産 794,006</td> </tr> <tr> <td>経常費用 172,483</td> <td>流動資産 74,197</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 1,608</td> <td>固定資産 719,808</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 0</td> <td>負債 232,078</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 0</td> <td>流動負債 21,646</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 0</td> <td>固定負債 210,432</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 1,608</td> <td>正味財産(純資産) 561,928</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 13,685</td> <td>一般正味財産 250,157</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高 561,928</td> <td>指定正味財産 311,771</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 15,294</td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)	経常収益 174,091	資産 794,006	経常費用 172,483	流動資産 74,197	当期経常増減額 1,608	固定資産 719,808	経常外収益 0	負債 232,078	経常外費用 0	流動負債 21,646	当期経常外増減額 0	固定負債 210,432	当期一般正味財産増減額 1,608	正味財産(純資産) 561,928	当期指定正味財産増減額 13,685	一般正味財産 250,157	正味財産期末残高 561,928	指定正味財産 311,771	当期正味財産増減額 15,294	
○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)																									
経常収益 174,091	資産 794,006																									
経常費用 172,483	流動資産 74,197																									
当期経常増減額 1,608	固定資産 719,808																									
経常外収益 0	負債 232,078																									
経常外費用 0	流動負債 21,646																									
当期経常外増減額 0	固定負債 210,432																									
当期一般正味財産増減額 1,608	正味財産(純資産) 561,928																									
当期指定正味財産増減額 13,685	一般正味財産 250,157																									
正味財産期末残高 561,928	指定正味財産 311,771																									
当期正味財産増減額 15,294																										
5	問題点及び懸案事項	<p>経常収支で黒字を維持しており、健全な経営といえるものの、外国債の運用益により管理費を支出しているため、今後も経営の安定化を図るために安全かつ効率的な運用に務めていく。</p>																								
6	対策及び処理状況	<p>引き続き効率的な事務事業を行うとともに、資産の運用についても適切に実施するよう求めていく。</p>																								

県出資法人の経営状況報告概要書

その他13

(課・室名) 畜産振興課

項	目	概	要	等																																																								
1	法人名及び代表者名	株式会社大分県畜産公社 代表取締役社長 壁村 雄吉																																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	500,150千円 19.4% 2,574,540千円																																																										
3	事業内容	<p>食肉流通の近代化、合理化を図ることで、畜産農家の所得向上と消費者への食肉の安定供給に寄与することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家畜のと畜解体処理 2 食肉の製造及び販売 3 県産畜産物アンテナショップの運営 4 肥育牛の預託事業 5 その他附帯する事業 																																																										
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>9,928,535</td> <td>資産</td> <td>5,629,683</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>9,385,118</td> <td>流動資産</td> <td>3,445,490</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>543,418</td> <td>固定資産</td> <td>2,184,193</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>549,624</td> <td>負債</td> <td>3,490,434</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>▲6,206</td> <td>流動負債</td> <td>2,643,916</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>49,573</td> <td>固定負債</td> <td>846,518</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>1,675</td> <td>純資産</td> <td>2,139,249</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>41,693</td> <td>資本金</td> <td>2,574,540</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>14,288</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>12,905</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲435,291</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>43,077</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>法人税・住民税及び事業税</td> <td>18,598</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>24,479</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	9,928,535	資産	5,629,683	売上原価	9,385,118	流動資産	3,445,490	売上総利益	543,418	固定資産	2,184,193	販売費及び一般管理費	549,624	負債	3,490,434	営業利益	▲6,206	流動負債	2,643,916	営業外収益	49,573	固定負債	846,518	営業外費用	1,675	純資産	2,139,249	経常利益	41,693	資本金	2,574,540	特別利益	14,288	資本剰余金	0	特別損失	12,905	利益剰余金	▲435,291	税引前当期純利益	43,077			法人税・住民税及び事業税	18,598			当期純利益	24,479		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																										
売上高	9,928,535	資産	5,629,683																																																									
売上原価	9,385,118	流動資産	3,445,490																																																									
売上総利益	543,418	固定資産	2,184,193																																																									
販売費及び一般管理費	549,624	負債	3,490,434																																																									
営業利益	▲6,206	流動負債	2,643,916																																																									
営業外収益	49,573	固定負債	846,518																																																									
営業外費用	1,675	純資産	2,139,249																																																									
経常利益	41,693	資本金	2,574,540																																																									
特別利益	14,288	資本剰余金	0																																																									
特別損失	12,905	利益剰余金	▲435,291																																																									
税引前当期純利益	43,077																																																											
法人税・住民税及び事業税	18,598																																																											
当期純利益	24,479																																																											
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 県内唯一の食肉処理施設としての処理機能に加え、県産食肉の国内外における販路拡大に向けた「ブランド力を高める機能」と「流通拠点としての機能」が求められている。 2 令和2年度については、農場から牛・豚の集荷基盤を強化し牛肉輸出に向けた取扱量が増加したことで当期純利益は黒字化したものの、新処理施設建設時(H28)に発生した赤字を加えた繰越利益剰余金は▲435,291千円となっており、アフターコロナを見据えた抜本的な経営改善が求められる。 																																																										
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 と畜・加工部門の効率化による経費削減、集荷拡大、販売強化等を進める。 2 国内輸出業者との連携を密接に図り、対象国・地域の実情に応じたカット処理対応や技術交流により、販売拡大を進める。 3 集荷拡大については畜産クラスター事業を活用した意欲ある生産者の規模拡大を支援し、集荷拡大を図る。 4 販売強化は①関西、中京圏の新規開拓、販売拡大を図る。②輸出対策として東アジア地域を中心とした海外輸出を強化するとともに対中国輸出を見据え輸出業者との商談を加速する。③インターネット販売等、多様化する需要に対応した販売を強化する。 																																																										

県出資法人の経営状況報告概要書

その他14

(課・室名) 漁港漁村整備課

項	目	概	要	等																																																								
1	法人名及び代表者名	周防灘フェリー株式会社 代表取締役社長 池田 弘明																																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	501千円 1.0% 48,000千円																																																										
3	事業内容	竹田津・徳山航路のフェリーボートの運航																																																										
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○損益計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>307,446</td> <td>資産</td> <td>381,700</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>259,124</td> <td>流動資産</td> <td>255,201</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>48,322</td> <td>固定資産</td> <td>126,499</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>89,151</td> <td>負債</td> <td>368,418</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>▲40,828</td> <td>流動負債</td> <td>43,912</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>9,654</td> <td>固定負債</td> <td>324,506</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>637</td> <td>純資産</td> <td>13,281</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>▲31,812</td> <td>資本金</td> <td>48,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>26,352</td> <td>資本剰余金</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>6,000</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲48,618</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純損失</td> <td>▲11,459</td> <td>自己株式</td> <td>▲721</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>365</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>14,421</td> </tr> <tr> <td><u>当期純利益</u></td> <td><u>▲11,824</u></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	307,446	資産	381,700	売上原価	259,124	流動資産	255,201	売上総利益	48,322	固定資産	126,499	販売費及び一般管理費	89,151	負債	368,418	営業利益	▲40,828	流動負債	43,912	営業外収益	9,654	固定負債	324,506	営業外費用	637	純資産	13,281	経常利益	▲31,812	資本金	48,000	特別利益	26,352	資本剰余金	200	特別損失	6,000	利益剰余金	▲48,618	税引前当期純損失	▲11,459	自己株式	▲721	法人税、住民税及び事業税	365	評価・換算差額等	14,421	<u>当期純利益</u>	<u>▲11,824</u>		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																										
売上高	307,446	資産	381,700																																																									
売上原価	259,124	流動資産	255,201																																																									
売上総利益	48,322	固定資産	126,499																																																									
販売費及び一般管理費	89,151	負債	368,418																																																									
営業利益	▲40,828	流動負債	43,912																																																									
営業外収益	9,654	固定負債	324,506																																																									
営業外費用	637	純資産	13,281																																																									
経常利益	▲31,812	資本金	48,000																																																									
特別利益	26,352	資本剰余金	200																																																									
特別損失	6,000	利益剰余金	▲48,618																																																									
税引前当期純損失	▲11,459	自己株式	▲721																																																									
法人税、住民税及び事業税	365	評価・換算差額等	14,421																																																									
<u>当期純利益</u>	<u>▲11,824</u>																																																											
5	問題点及び懸案事項	<p>1 新型コロナウイルスに伴う県外への移動や外出の自粛等の影響に伴い、売上高が昨年度と比較し100,000千円以上も減少したことで、昨年度に引き続き赤字となり、当期純利益は▲11,824千円となった。</p> <p>2 今年度も令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症等の影響により厳しい営業状況が見込まれている。</p> <p>3 依然として以下のような懸案がある。</p> <p>(1) 道路交通網の発達や個人消費の低迷による利用者の減少</p> <p>(2) 燃油価格に左右される費用</p> <p>(3) 物流拠点の変更等による利用台数の減少</p> <p>(4) 天候不順や疫病等の外部環境に利益が直結</p>																																																										
6	対策及び処理状況	<p>引き続き、2ヶ月に1回の割合で現地調査等によるモニタリングを実施していく。また、経営計画の進捗や経営状況を検証しながら、より一層の営業活動の強化と経費削減など採算重視の経営改善に取り組み、経営健全化を進め、本県と中国地方を結ぶ唯一の航路が維持されるよう指導を行っていく。</p>																																																										

県出資法人の経営状況報告概要書

その他15

(課・室名) 警察本部 生活安全企画課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県防犯協会 理事長 荒金 一義																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 7.0% 28,418千円																																														
3	事業内容	1 防犯思想の普及及び高揚並びに犯罪の防止 2 少年非行の防止及び青少年の健全育成 3 防犯団体が行う防犯活動に対する協力援助 4 防犯活動の功労者及び団体に対する表彰 5 風俗環境の浄化活動 6 自転車等の防犯対策 等																																														
4	2年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>40,313</td> <td>資産</td> <td>40,752</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>40,200</td> <td>流動資産</td> <td>9,214</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>113</td> <td>固定資産</td> <td>31,539</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>505</td> <td>負債</td> <td>5,179</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>157</td> <td>流動負債</td> <td>3,166</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>348</td> <td>固定負債</td> <td>2,013</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>461</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>35,574</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲505</td> <td>一般正味財産</td> <td>34,517</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>35,574</td> <td>指定正味財産</td> <td>1,056</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲44</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	40,313	資産	40,752	経常費用	40,200	流動資産	9,214	当期経常増減額	113	固定資産	31,539	経常外収益	505	負債	5,179	経常外費用	157	流動負債	3,166	当期経常外増減額	348	固定負債	2,013	当期一般正味財産増減額	461	正味財産(純資産)	35,574	当期指定正味財産増減額	▲505	一般正味財産	34,517	正味財産期末残高	35,574	指定正味財産	1,056	当期正味財産増減額	▲44		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	40,313	資産	40,752																																													
経常費用	40,200	流動資産	9,214																																													
当期経常増減額	113	固定資産	31,539																																													
経常外収益	505	負債	5,179																																													
経常外費用	157	流動負債	3,166																																													
当期経常外増減額	348	固定負債	2,013																																													
当期一般正味財産増減額	461	正味財産(純資産)	35,574																																													
当期指定正味財産増減額	▲505	一般正味財産	34,517																																													
正味財産期末残高	35,574	指定正味財産	1,056																																													
当期正味財産増減額	▲44																																															
5	問題点及び懸案事項	<p>昨年度に比べ、賛助会員数及び個別の口数が微減したため、賛助会費収入が約41万円の減額となった。</p> <p>公益事業を効果的に推進するため、賛助会員の拡大等県民の理解と協力を得る必要がある。</p>																																														
6	対策及び処理状況	<p>ホームページや広報誌等を活用する他、あらゆる機会を通じ、団体の活動状況を広く県民に広報して理解を求めるとともに、各種団体への協力依頼等を行う。</p>																																														

Ⅱ 地方独立行政法人（公立大学法人）の 経営状況報告概要書

地方独立行政法人の経営状況報告概要書

公立大学法人1

(課・室名) 政策企画課

項	目	概	要	等																												
1	法人名及び代表者名	公立大学法人大分県立芸術文化短期大学 理事長 小手川 大助																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,823,539千円(土地・建物) 100%																														
3	事業内容	<p>令和2年度事業実績</p> <p>1 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策として、オンライン授業の実施体制を整え、芸術系の実技授業では感染防止を徹底して対面授業を実施。 ・各学科における教育内容の改革及び進路支援体制の強化。 就職率 H30:97.3%→R1:98.0%→R2:98.3% 進学率 H30:98.3%→R1:97.9%→R2:100% 志願者数 R1入試:826人→R2入試:842人→R3入試:801人 ・全学科横断型の学修カリキュラム「アートマネジメントプログラム」は延べ270人が受講、46人が修了。 <p>2 社会貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県芸術文化スポーツ振興財団と連携し、定期演奏会及び美術科卒業制作展等を開催したほか、「サービ斯拉ーニング」では各地域をフィールドに学生が文化活動や地域づくりに参加。 ・九州乳業製品のパッケージデザイン、大分県民芸術文化祭ポスター制作、県立美術館開館5周年記念式典オープニングコンサート出演など、各種団体との協働による制作活動を実施。 <p>3 業務運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年間のキャンパス工事が最終年度を迎え、予定通り完了。 ・全学を挙げた新型コロナウイルス感染防止対策を実施。 																														
4	2年度決算状況	<table border="1"> <tr> <td>経常収益</td> <td>1,050,056千円</td> <td>→参考：内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>1,036,118千円</td> <td>運営費交付金</td> <td>510,603千円</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>13,938千円</td> <td>授業料</td> <td>329,754千円</td> </tr> <tr> <td>臨時損益</td> <td>0千円</td> <td>入学金</td> <td>100,984千円</td> </tr> <tr> <td>前中期目標期間</td> <td></td> <td>検定料</td> <td>15,872千円</td> </tr> <tr> <td>繰越積立金取崩額</td> <td>15,411千円</td> <td>受託事業等</td> <td>1,511千円</td> </tr> <tr> <td>当期総利益</td> <td>29,349千円</td> <td>その他(設備費等)</td> <td>91,332千円</td> </tr> </table>			経常収益	1,050,056千円	→参考：内訳		経常費用	1,036,118千円	運営費交付金	510,603千円	経常利益	13,938千円	授業料	329,754千円	臨時損益	0千円	入学金	100,984千円	前中期目標期間		検定料	15,872千円	繰越積立金取崩額	15,411千円	受託事業等	1,511千円	当期総利益	29,349千円	その他(設備費等)	91,332千円
経常収益	1,050,056千円	→参考：内訳																														
経常費用	1,036,118千円	運営費交付金	510,603千円																													
経常利益	13,938千円	授業料	329,754千円																													
臨時損益	0千円	入学金	100,984千円																													
前中期目標期間		検定料	15,872千円																													
繰越積立金取崩額	15,411千円	受託事業等	1,511千円																													
当期総利益	29,349千円	その他(設備費等)	91,332千円																													
5	問題点及び懸案事項	<p>1 入学生の確保と卒業後の進路等における学生への支援</p> <p>2 地域社会・産業への貢献の推進</p> <p>3 新キャンパスの活用と新型コロナウイルス対策の強化</p>																														
6	対策及び処理状況	<p>1 履修内容の充実を図るとともに、大学の魅力を積極的に発信するなど、入学生確保の取組を促進。また、学生に対する経済的支援ときめ細かな就職・進学支援に取り組む。</p> <p>2 地域や各団体と協働し、デザインや音楽等専門的な教育研究成果を社会に還元し、芸術文化振興や地域活性化に貢献する。</p> <p>3 リニューアルしたキャンパスを活用した魅力ある大学づくりを進めるとともに、感染症対策を徹底する。</p>																														

公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学の 令和2事業年度の業務実績に関する評価結果

1 根拠法令

地方独立行政法人法第78条の2第6項

設立団体の長は、地方独立行政法人評価委員会の評価結果を議会に報告

(令和3年7月13日 大分県地方独立行政法人評価委員会 開催)

2 評価結果

(1) 「全体として年度計画を順調に実施している。」

(2) 大項目評価

大項目	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
I 教育研究等の質 の向上	S	A	B	C	D
II 業務運営の改善 及び効率化	S	A	B	C	D
III 財務内容の改善	S	A	B	C	D
IV 自己点検・評価及 び情報提供	S	A	B	C	D
V その他業務運営	S	A	B	C	D

(3) 評価理由

「I 教育研究等の質の向上」においては、以下のことで、特筆すべき進行状況であると評価された。

①全学科横断型の「アートマネジメントプログラム」が開講3年目を迎え、芸術系、人文系各学科から受講し、46名が2年間の所定の履修を修了したこと。

②就職・進学に対応した進路指導プログラム、進路指導室と各学科の連携による面接・相談等により、就職率98.3%、進学率100%といずれも前年度を上回ったこと。

③県内各地域、各種団体、企業との協働による制作・発表活動、地域支援活動などを実施するとともに、県内各地域をフィールドに文化活動や地域づくりプログラムに学生が参加するなど、地域に開かれた大学として地域社会へ貢献する取組を進めていること。

また、全体として、新型コロナの影響を受けながらも、学生及び教職員が感染防止策に一丸となって取り組んでおり、授業においても、各学科の特殊性を勘案しつつ、実技を伴う芸術系学科は感染防止を徹底した対面授業、人文系学科では、オンライン講義を実施するなど、臨機応変の対応により、期間内に所定の教育を終えたことが評価された。

地方独立行政法人の経営状況報告概要書

公立大学法人2

(課・室名) 医療政策課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公立大学法人大分県立看護科学大学 理事長 村嶋 幸代		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,264,363千円(土地・建物) 100%		
3	事業内容	<p>1 大学を設置し、これを運営すること。</p> <p>2 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。</p> <p>3 地域社会及び国際社会において、大学における教育研究の成果を普及し、及びその活用を促進すること。</p> <p>4 学生以外の者に対し、看護に関する学習の機会を提供すること。</p> <p>5 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。</p> <p>6 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。</p> <p>・就職率 (学 部) H30:97.0%→ R1 : 100%→ R2 :95.8%</p> <p>・進学率 (学 部) H30: 100%→ R1 : 100%→ R2 : 100%</p> <p>・志願者数 (学 部) H31: 415人→ R2 : 501人→ R3 : 405人</p> <p>・国試合格率(看護師) H30:97.4%→ R1 : 100%→ R2 : 100%</p>		
4	2年度決算状況	<p>経常収益 941,873千円 → 参考：内訳</p> <p>経常費用 942,989千円</p> <p>経常利益 ▲1,116千円</p> <p>臨時利益 0千円</p> <p>前中期目標期間</p> <p>繰越積立金取崩額 30,954千円</p> <p>当期総利益 29,838千円</p>	<p>運営費交付金 648,572千円</p> <p>授業料 211,841千円</p> <p>入学金 27,032千円</p> <p>検定料 9,153千円</p> <p>受託研究等 11,399千円</p> <p>その他(補助金等) 33,876千円</p>	
5	問題点及び懸案事項	<p>1 今後10年間で約3分の1の教員が定年退職することが見込まれている中において、教育・研究体制を維持・充実させる必要がある。</p> <p>2 開学後23年が経過し、教育・研究用の機器類や施設が老朽化しており、それらの修理更新及び施設保全の経費の増加が見込まれる。</p>		
6	対策及び処理状況	<p>1 円滑な新陳代謝を進めるために学内からの若手登用と経験豊富な外部人材の確保を計画的に行うとともに、全ての教職員に意見募集を行い人員配置や人材育成方法などの検討を進めることとしている。</p> <p>2 機器類は、積立金(令和2年度末残高222,665千円)を活用して、優先順位を定め効率的に修理、更新を進めている。</p> <p>施設保全については、劣化等による機能低下等を生じさせないよう、耐用年数等を考慮し計画的に改修を行う予防保全型維持管理を取り入れた大分県公共施設等総合管理指針に基づき対応している。</p>		

公立大学法人 大分県立看護科学大学の 令和2事業年度の業務実績に関する評価結果

1 根拠法令

地方独立行政法人法第78条の2第6項

設立団体の長は、地方独立行政法人評価委員会の評価結果を議会に報告

(令和3年7月13日 大分県地方独立行政法人評価委員会 開催)

2 評価結果

(1) 「全体として年度計画を順調に実施している。」

(2) 大項目評価

大項目	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
I 教育研究等の質 の向上	S	A	B	C	D
II 業務運営の改善 及び効率化	S	A	B	C	D
III 財務内容の改善	S	A	B	C	D
IV 自己点検・評価及 び情報提供	S	A	B	C	D
V その他業務運営	S	A	B	C	D

(3) 評価理由

①看護科学大学のアドミッションポリシー(入学者受入れの方針)に合致した学生を受け入れるためのアドミッション・オフィスの設置、入試方法の改革などを行い、優秀な学生確保に取り組み、高大接続のさらなる強化に向けて、高校の意見を積極的に集約し、改善に向けた情報の分析を行っていること。

②新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止のため4月からオンライン授業を速やかに開始、学事暦を変更することなく感染状況に合わせて対面授業とオンライン授業を組み合わせた教育を実施、また、教育研究審議会や各種委員会、オープンキャンパス、大学院説明会、卒論発表会等多くのイベントもオンラインで開催するなど、臨機応変の対応が取られたこと。

Ⅲ 県有地の信託に係る事務の 処理状況報告概要書

県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

(課・室名) 商工観光労働企画課

項	目	概	要	等															
1	法人名及び代表者名	県有地の信託																	
2	事業内容	1 土地 7,383㎡ 2 建物 大分ソフィアプラザビル（昭和63年4月1日開業） 鉄筋コンクリート造 地上4階建 大分第2ソフィアプラザビル（平成5年4月1日開業） 鉄筋コンクリート造 地上7階建 3 土地信託契約内容 ・受託者 三井住友信託銀行株式会社 ・信託期間 昭和62年2月4日～令和10年8月15日（41年間） ・信託報酬 （賃料＋駐車場料）×2.5％ ・貸室条件 情報通信関連企業、知事が認める企業																	
3	2年度決算状況	1 令和2年度決算 収 入 384,551千円 利益処分計算 支 出 153,226千円 当期純利益 231,325千円 2 借入状況（受託者による資金の借り入れ） ・令和2年度返済金額 58,071千円 ・令和2年度末借入残高 413,898千円 （内訳） 〔 三井住友信託銀行 206,949千円 大分銀行 206,949千円 〕 ※令和2年度決算により、合併信託財産に属する現金の残高が借入金債務及び敷金等の返還債務の合計残高を上回った。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: none;">}</td> <td style="border: none;">借入金敷金等返済金</td> <td style="border: none;">47,736</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">}</td> <td style="border: none;">資本的支出</td> <td style="border: none;">10,921</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">}</td> <td style="border: none;">修繕積立金</td> <td style="border: none;">132,734</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">}</td> <td style="border: none;">敷金等返還準備金</td> <td style="border: none;">7,000</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">}</td> <td style="border: none;">共益費会計余剰金</td> <td style="border: none;">32,934</td> </tr> </table>			}	借入金敷金等返済金	47,736	}	資本的支出	10,921	}	修繕積立金	132,734	}	敷金等返還準備金	7,000	}	共益費会計余剰金	32,934
}	借入金敷金等返済金	47,736																	
}	資本的支出	10,921																	
}	修繕積立金	132,734																	
}	敷金等返還準備金	7,000																	
}	共益費会計余剰金	32,934																	
4	問題点及び懸案事項	今後数年において、大規模な設備の更新や改修が必要																	
5	対策及び処理状況	更新や改修が必要な設備は以下のとおりである。受託者と協議しつつ、随時対応していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 機械式二段駐車場、トイレ（バリアフリー化等） ・令和4年度 中央監視システム ・令和5年度以降 エレベーター、空調設備 ・その他 室内灯のLED化 【参考：入居率の推移】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>78.6%</td> <td>83.5%</td> <td>83.8%</td> <td>85.5%</td> <td>96.7%</td> <td>97.3%</td> </tr> </tbody> </table>			H28	H29	H30	R元	R2	R3※	78.6%	83.5%	83.8%	85.5%	96.7%	97.3%			
H28	H29	H30	R元	R2	R3※														
78.6%	83.5%	83.8%	85.5%	96.7%	97.3%														

※令和3年度見込み

